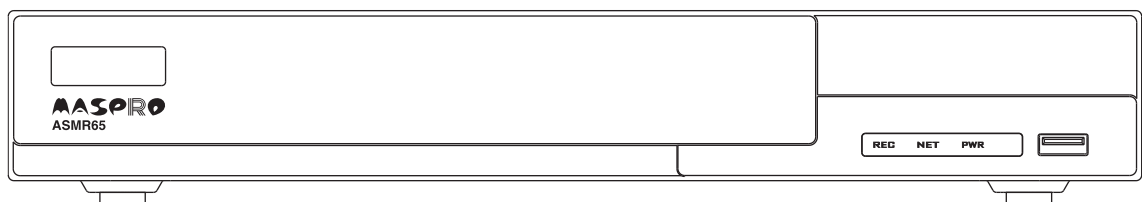


ASMR65

保証書付



付属品

ACアダプター(約1m)	1個
ACコード(約1m)	1本
HDMIケーブル(約1m)	1本
マウス	1個

- 本機は、防犯を保証する機器ではありません。
ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 本機は、インターネットに接続しなくてもご使用いただけますが、ネットワークカメラ(IPカメラ)の接続や、遠隔での監視や操作を行う場合、有線接続できるインターネット環境が必要です。
- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

はじめに

特長	3
安全上のご注意	4
ご使用になる前に	7
使用上のご注意	7
個人情報について	7
本機の修理や譲渡、廃棄するときのご注意	7
ネットワーク使用時のセキュリティ対策について	8
日時設定について	8
ハードディスクについて	8
商標について	8
各部の名称	9

設置する

必要な物を準備する	10
レコーダーに機器を接続する	11

基本操作と初期設定

基本操作	12
システムの起動	12
システムのシャットダウン	12
初期設定	12
マウス操作	12
ログイン	13
初期設定	14

操作する

ライブ画面	16
メインメニュー	17
カメラ映像	18
カメラメニュー	19
PTZカメラを制御する	20
OSD	20
プリセット	21
クルーズ	22
再生する	23
再生映像	25
メインメニュー	26
再生するカメラを選択する	26
スマート再生	27
録画映像を検索してバックアップする	28
録画映像を検索する	28
録画映像をバックアップする	33

詳細設定

設定メニュー	34
設定メニュー 一覧	35
カメラの設定	36
カメラ管理	36
画像	38
動体検知	39
スマート検知	40
PTZ	42
録画の設定	44
録画	44
エンコード設定値	45
録画スケジュール	46
録画状態	46
アラームの設定	47
イベント通知	47
動体検知	49
スマート検知警告	50
センサー入力	50
異常	51
アラーム状態	51
ハードディスクの設定	52
HDD管理	52
記録モード	52
HDD	52
ネットワークの設定	53
ネットワーク	53
ストリーム設定	56
ネットワーク状態	56
ユーザー権限の設定	57
ユーザー	57
セキュリティ	60
ユーザー状態	61
システムの設定	62
一般	62
メンテナンス	65
情報	66

パソコンで再生する

バックアップした映像を見る	67
専用ビューアーの取得方法	67
専用ビューアーで録画ファイルを再生する	67
メインメニュー	68

スマートフォンで映像を見る

スマートフォンの設定をする	70
ライブ画面	72
カメラ映像	73
リモート再生	74
設定	75
メニュー	76
ローカル	77
ファイル	78
サーバーリスト	79
プッシュ設定	80
通知	81

Webブラウザで映像を見る

Webブラウザからログインする	82
Webブラウザからログインする	82
初めて起動する場合	82
ライブ画面	83
再生	85
バックアップ	86
ローカル設定	86
ファイルの保存先について	87

必要なとき

故障とお考えになる前に	89
規格表	90
録画時間の目安	91
保証書	92

特長

- 高画質なカメラに対応し、高画質で録画
最大で500万画素(解像度2560×1920)の画質で録画できます。
- AHDカメラだけでなくアナログカメラやネットワークカメラ(IPカメラ)などにも対応
AHDだけでなくTVIやCVIも対応できます。
ONVIFIに対応していますから、ネットワークカメラも簡単に接続できます。
CoC(同軸ケーブル制御機能)に対応していますから、PTZカメラも制御できます。
- 内蔵ハードディスクに長時間録画
容量2TBのハードディスクを搭載していますから、長時間の録画ができます。
- 動体検知だけでなくスマート検知にも対応
カメラごとに範囲や感度などを設定して動体検知ができます。
スマート検知は、対象物の検知や、カメラのいたずらなどを検知できます。
- 常時録画だけでなく、スケジュール録画や動体検知録画にも対応
カメラごとにそれぞれの録画方法を組合せて設定できます。
- 本機からカメラの設定が可能
CoC(同軸ケーブル制御機能)に対応していますから、CoCに対応したカメラは、本機から設定が行えます。
遠隔で設定できますから、カメラから離れたところでも、カメラの設定が可能です。
- 複数のカメラ映像を分割表示
分割表示できますから、最大6台(AHDカメラ:4台 ネットワークカメラ:2台)のカメラ映像を同時に確認できます。
- 録画データを簡単に検索して再生
日付や時刻を選ぶことで、録画データを簡単に再生できます。
スマート再生機能によって動体検知などの検知箇所だけを再生できます。
- 録画データのバックアップやパソコン再生が可能
内蔵ハードディスクの録画データをUSBに接続したメモリーにバックアップできます。
バックアップした録画データをパソコンで再生できます。
- 遠隔での監視や操作が可能
本機をネットワークに接続することで、本機から離れたところからカメラの制御や録画データを視聴できます。

- 付属のACアダプター、ACコードは、本機専用です。本機以外に使用しないでください。また、他のACアダプター、ACコードを本機に使用しないでください。
- 付属のACアダプター、ACコードの使用方法是、この取扱説明書をご覧ください。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



禁止の行為を示しています。



行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

警告



- 本機や付属品などを包装しているポリ袋、および細かい部品は、お子様の手の届く場所に放置しないでください。飲込むと窒息し、死亡の原因となります。
- ACアダプターは、コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプター、ACコードのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、重いものを載せたり、物や扉などで挟んだり、熱器具に近付けたりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。コードが傷んだ場合（芯線の露出や断線など）、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 本機の内部に、金属類や燃えやすいものなど、異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機やACアダプターは、風通しの悪い場所で使用しないでください。風通しを悪くすると内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
 - ・押入れ・本箱・天井裏など、風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする。
 - ・布や布団でおおったり、包んだりする。

警告



- 本機やACアダプターを分解したり、改造したりしないでください。また、内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご連絡ください。
- 本機やACアダプターに水をかけたり、濡らしたりしないでください。本機やACアダプターの上に水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。また、ペットなどの動物が、本機やACアダプターの上に乗らないようにご注意ください。尿や糞が中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で、本機に触らないでください。また、ACプラグを抜差ししないでください。感電の原因となります。
- 雷が鳴出したら、本機やACアダプター、ACコードには触れないでください。感電の原因となります。



- 万一、本機やACアダプターの内部に、異物や水が入った場合、ACプラグをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 万一、本機やACアダプターを落とししたり、破損したりした場合、ACプラグをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACプラグをACコンセントから抜き、煙や臭いがなくなるのを確認して販売店にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。
- ACアダプターは、ACコンセントから抜きやすい場所に設置し、ACプラグが容易に取外しできるようにしてください。
- ACアダプター、ACコードは、必ず本機にご使用ください。他の機器または他メーカーの製品と組み合わせて使用しないでください。また、他の機器のACアダプター、ACコードを本機に使用しないでください。火災の原因となります。
- ACプラグは、ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、ACプラグは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。
- 本機は、定期的に掃除してください。掃除する際は、ACプラグをACコンセントから抜いてください。内部にホコリがたまっている場合は、販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 配線工事は正しく、安全・確実に行なってください。また、本機に接続されるすべての機器は、必要に応じて適切に接地されていることを確認してください。誤った配線工事は、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意



- 本機やACアダプター、ACコードは、湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器の近くなど、油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本機やACアダプター、ACコードは、温室やサンルームなどの、高温で湿度の高い所で使用しないでください。また、直射日光が当たる場所に設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ACプラグをACコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACプラグの根元を持って抜いてください。
- 本機の上に重いものを置かないでください。本機のバランスが崩れ、落下により、けがの原因となります。
- 本機は、水平な面に設置してください。傾いた場所など不安定な場所に設置しないでください。また、壁面に取付けないでください。落下により、けがの原因となります。
- 本機は横向きに設置してください。縦置きに設置すると、転倒により、けがの原因となります。



- 本機を移動させる場合、必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。コードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れは、安全のため、必ずACプラグをACコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。
- 長期間、使用しないときは、安全のため、必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。そのままにしておくと、火災の原因となることがあります。
- 雷の発生が予想されるときは、前もって、ACプラグをACコンセントから抜いてください。落雷によって、火災の原因となることがあります。
- 換気扇などのモーター類を搭載した機器の電源とは別系統で配線してください。電源ノイズの影響を受け、録画や表示が正しく作動しない可能性があります。

使用上のご注意

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。海外では使用できません。
- 本機を分解・改造しないでください。分解・改造した場合は、保証対象外となります。本機が故障した場合、販売店に修理を依頼してください。
- 本機は防犯を保証する機器ではありません。ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 本機は、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して使用してください。撮影された画像が、公になったり、使用されたりして、被写体のプライバシーや肖像権の侵害、画像の使用による損害が生じても、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 本機の故障、誤作動、接続機器の不具合などの原因により、正常に録画できなかった場合の、録画した内容の損失および直接・間接の損害に対して、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 本機は、インターネットに接続しなくてもご使用いただけますが、ネットワークカメラ(IPカメラ)の接続や、遠隔での監視や操作を行う場合、有線接続できるインターネット環境が必要です。インターネット環境には、接続するネットワークカメラの台数や映像設定に応じた、十分な通信帯域が必要です。十分な通信帯域が得られない場合、映像の途切れの発生や遠隔監視が行えなくなります。
- 本機の放熱用の開口部を塞がないでください。また、他の機器と重ねて設置しないでください。発熱により故障の原因となります。
- 本機に磁石など磁気を持っているものを近付けないでください。磁気の影響を受けて作動が不安定になることがあります。
- ACアダプターを第2種環境(商業、軽工業、および工業用環境)の電源に接続しないでください。故障・誤作動の原因となります。
- 本機の各入出力端子には、規格を超えた電圧や電流を加えないでください。故障・誤作動の原因となります。
- 本機の電源を切るときは、必ず「メインメニュー」(p.17)から「終了」を選択してください。「終了」を選択しないで電源を切断すると、録画データが破損する原因となります。また、システムデータが破損し故障の原因となります。
- 本機に設定されている初期パスワードは、使用を開始するときに必ず変更してください。設定した「ユーザー名」や「パスワード」は忘れることがないように管理してください。
- その他の、最新のご注意については、設置前に弊社技術相談までお問合せください。

個人情報について

本機、および本機を使用したシステムで録画された、個人を特定できる映像は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。

法律に従い、録画データを適正に取り扱ってください。

- 個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン(通則編)」における「個人情報に該当する事例」を参照してください。
- 個人情報の漏えいにより、損害が生じても、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。

本機の修理や譲渡、廃棄するときのご注意

本機、および本機を使用したシステムで使用する記憶媒体に記録された情報は「個人情報」に該当する場合があります。

本機の修理や譲渡、廃棄などで本機、または記憶媒体が第三者に渡る場合は、その取扱いに注意し、お客様の責任において修理、譲渡、破棄を行なってください。

修理や譲渡、破棄を行う場合は、下記の点などにご注意ください。

- 記憶媒体を取外し、記憶媒体を第三者に渡さない。
- 録画データを初期化する。
- 本機の設定を初期化する。

ネットワーク使用時のセキュリティ対策について

お客様の責任において、ネットワークのセキュリティ対策を適切に行なってください。
不正アクセスなどのネットワークのセキュリティ上の問題により損害が生じて、当社は責任を負いかねます。
予めご了承ください。

ネットワークに接続する場合は、下記の点などにご注意ください。

- ユーザー名、パスワードは、初期設定から変更して運用してください。
- パスワードは第三者に知られないように、管理にご注意ください。

日時設定について

本機には時計機能があり、録画した映像の日時を管理できます。
この時計機能は月差約1分程度の誤差となりますから、定期的に正しい時刻に校正してください。
本機をインターネット環境に接続している場合、NTP機能を使用することで自動的に日時が設定・校正されます。

ハードディスクについて

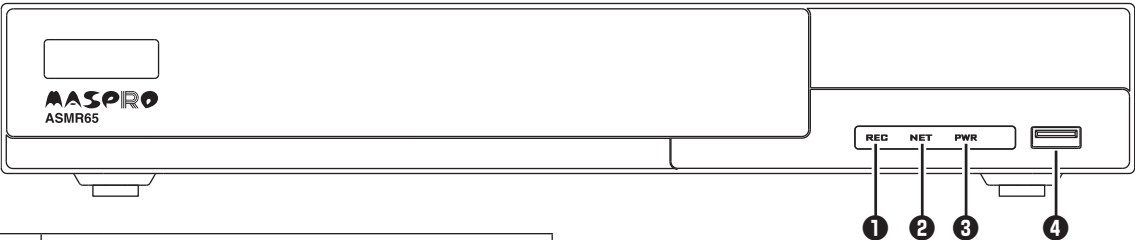
本機はハードディスクに映像を録画します。録画データの消失やハードディスクの故障・誤作動を起こさないように下記の点に注意してください。

- 本機を落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。持ち運びの際もご注意ください。
- 振動する場所には設置しないでください。
- 電源を入れたまま本機を動かさないでください。
- 本機の電源を切るときは、必ず「メインメニュー」(p.17)から「終了」を選択してください。作動中にACアダプター、ACコードを抜かないでください。
- 停電などで本機の電源が切れたときは、正常に録画が行えているか確認してください。
- 作動温度を超えた高温になる場所で使用しないでください。
- 本機の放熱用の開口部を塞がないでください。ラックなどに設置する場合は注意してください。
- ほこりや湿気の多い場所には設置しないでください。
- 放熱用の開口部付近を定期的に掃除してください。本機の内部にほこりがたまっている場合は販売店にご相談ください。
- ハードディスクは消耗品です。1～2年ごとにハードディスクを交換してください。なお、ハードディスクから異音がするなど、異常がある場合は、ただちに交換が必要なため、販売店までご連絡ください。
- ハードディスクの交換はお客様自身では行えません。販売店までご連絡ください。なお、ハードディスクの点検や交換によって消失した録画データの補償はできません。予め録画データのバックアップを行ってください。

商標について

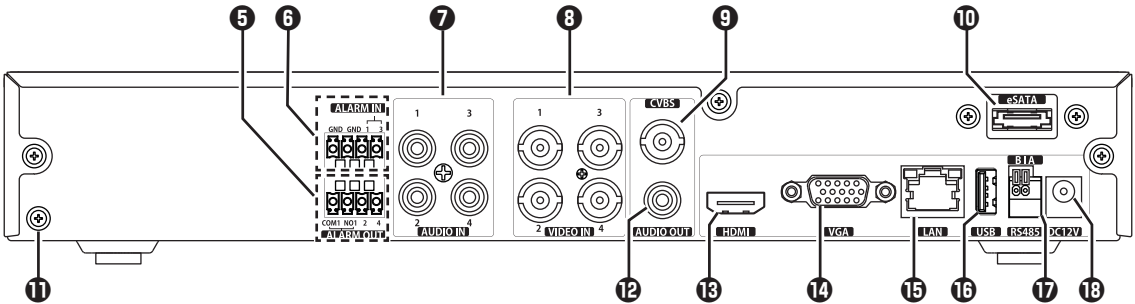
- iPhone、Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- GoogleおよびGoogleロゴ、Google Chrome、Android™は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Windows®、Internet Explorer®、Microsoft Edge®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

前面



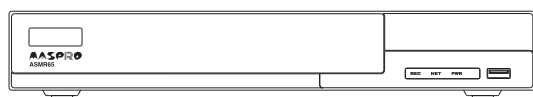
①	録画表示灯 (REC) 録画機能が作動すると点灯します。
②	ネットワーク表示灯 (NET) ネットワーク通信中に点灯します
③	電源表示灯 (PWR) 本機が起動すると点灯します。
④	USB端子 本機を操作するマウス(付属品)を接続します。

背面

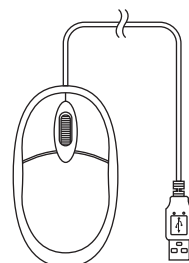


⑤	アラーム出力端子 本機では使用しません。	⑫	音声出力端子 スピーカーに接続します。(RCA端子) 音声を出力します。
⑥	アラーム入力端子 本機では使用しません。	⑬	HDMI出力端子 モニターに接続します。 映像や音声を出力します。
⑦	音声入力端子 カメラの音声端子を接続します。(RCA端子)	⑭	VGA出力端子 モニターに接続します。(D-SUB 15ピン) 映像を出力します。
⑧	映像入力端子 カメラの映像端子を接続します。(BNC端子)	⑮	LAN端子 LANケーブルを接続します。
⑨	スポット出力端子 モニターに接続します。(BNC端子) スポット出力が有効なとき、設定に従いカメラの映像 が出力されます。アナログ映像(NTSC)になります。	⑯	USB端子 バックアップ用ハードディスクを接続します。
⑩	eSATA端子 本機では使用しません。	⑰	制御端子 本機では使用しません。
⑪	シグナルGND端子 回路間の電圧を安定させるため、必要に応じてGND に接続してください。	⑱	電源端子 ACアダプター(付属品)のプラグを接続します。

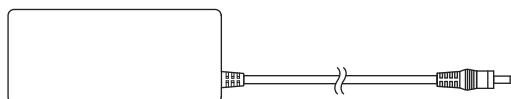
はじめに以下のものを準備します。



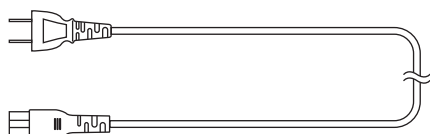
レコーダー（本機）



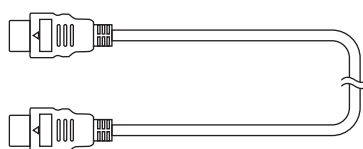
マウス(付属品)



ACアダプター（約1m）(付属品)



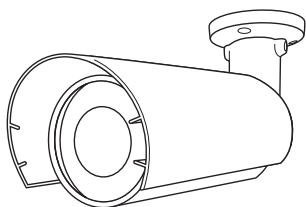
ACコード(約1m) (付属品)



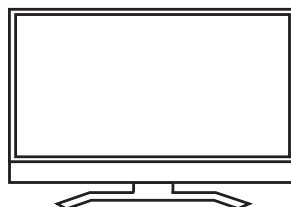
HDMIケーブル(約1m) (付属品)

●ケーブルの長さが足りない場合は、市販のHDMIケーブルを準備してください。HDMIケーブルはハイスピードのものを選定してください。

お客様で用意していただくもの

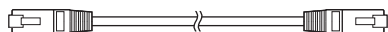


カメラ(AHDカメラ、またはIPカメラ)



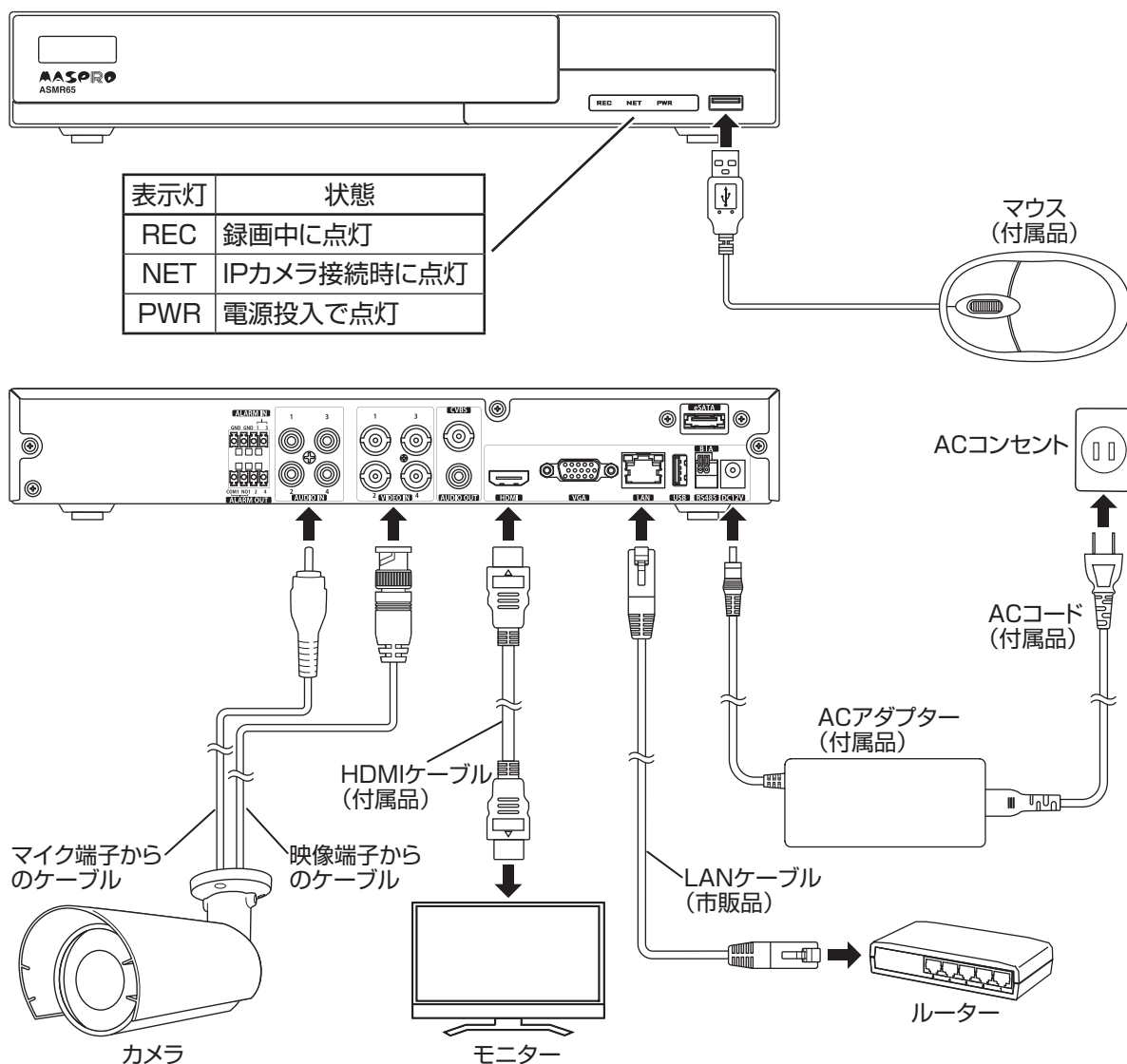
モニター

使用方法によって、お客様で用意していただくもの



LANケーブル

接続例



カメラの接続について

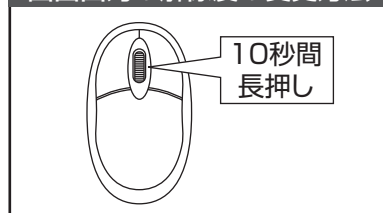
カメラの映像信号が映像入力端子に入力されると、映像信号をAHD、TVI、CVBSから自動的に識別します。手動で設定することも可能です。

モニターの接続について

モニターの設定により、画面が表示されない場合、解像度の設定を変更してください。

レコーダー操作のマウスの右ボタンを10秒間長押しすると、画面出力の解像度の設定を変更できます。設定画面からも変更できます。

画面出力の解像度の変更方法



システムの起動

本機にACアダプター、ACコードを接続し、ACプラグをACコンセントに差し込むと、電源表示灯（PWR）が点灯し、システムの起動を開始します。
電源投入時に本機から“ピー”という起動音が聞こえ、起動画面が表示されます。
起動後に「ライブ画面」(p.16)を表示します。

システムのシャットダウン

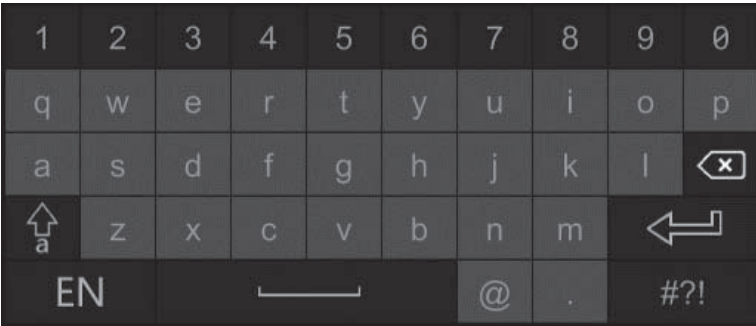
本機の電源を切るときは、「メインメニュー」(p.17)の「終了」を選択し、「終了」の項目を選択して「OK」をクリックすると、シャットダウンの処理を行います。
画面に「安全に電源を切ってください」と表示されたら、ACプラグをACコンセントから抜いてください。
シャットダウンの処理をせずに電源を切った場合、録画データが消失することがありますから、ご注意ください。

初期設定

本機を初めて起動したとき、および工場出荷の状態に戻したときは、初期設定を行うウィザード画面が表示されます。
ウィザードに従って初期設定を完了してください。詳細は「初期設定」(p.14)をご覧ください。

マウス操作

本機はマウスによって操作します。マウスを動かすと、画面上のカーソルが動きます。
左クリック：設定項目の表示や決定、選択を行います。
右クリック：各カメラのメニュー表示、設定画面では一つ前の画面に戻ります。
文字入力を行う際は、下記のソフトキーボードが表示されます。



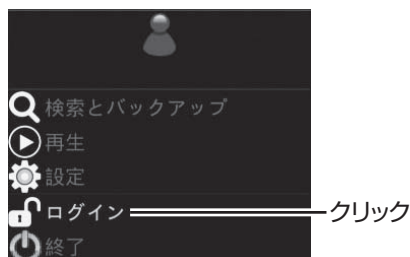
ボタン名	アイコン	説明
バックスペース		入力した文字を削除します。
エンター		入力を決定します。
大文字/小文字切換え		アルファベットの大文字と小文字を切換えます。
記号		記号入力に切換えます。

ログイン

ログインすると、設定や再生、シャットダウンが行えます。

- ①「メインメニュー」(p.17)の「ログイン」をクリックします。
●ログイン画面が表示されます。
- ②ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。
●パスワードを忘れた場合、「パスワード復旧」をクリックします。

メインメニュー



クリック

ログイン画面



ユーザー名とパスワードを入力

クリック

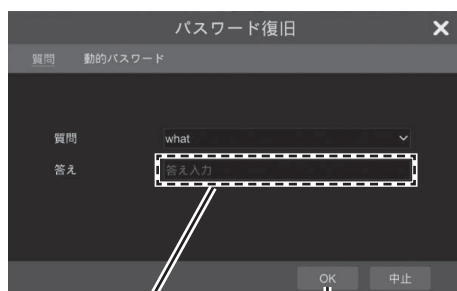
初期値
ユーザー名: admin
パスワード: 123456

パスワード復旧

パスワードを忘れた場合、ログイン画面で「パスワード復旧」をクリックします。
復旧方法は、「質問」と「動的パスワード」があります。

質問

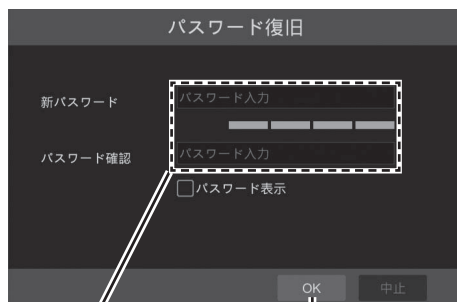
- ①秘密の質問の答えを入力し、「OK」をクリックします。



答えを入力

クリック

- ②新しいパスワードを入力して、「OK」をクリックします。



新しいパスワード
を入力

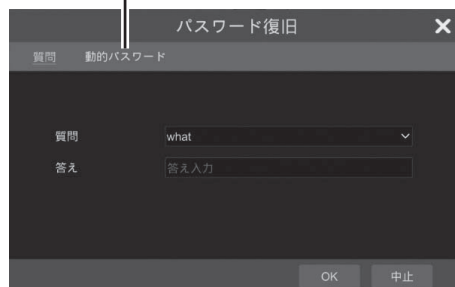
クリック

- ③再設定したパスワードでログインします。

動的パスワード

- ①動的パスワードをクリックします。

クリック



- ②下記の画面が表示されたら、弊社技術相談にご連絡ください。

ご注意

新しいパスワードが届くまで、下記の画面を閉じないでください。表示されている時刻情報が変わると、新しいパスワードが使用できなくなります。

- ③新しいパスワードを入力し、「OK」をクリックします。



新しいパスワードを入力

クリック

本機を初めて起動したとき、および工場出荷の状態に戻したときは、初期設定を行うウィザード画面が表示されます。ウィザードに従って初期設定を完了してください。

- ①言語と地域を選択し、「次」をクリックします。



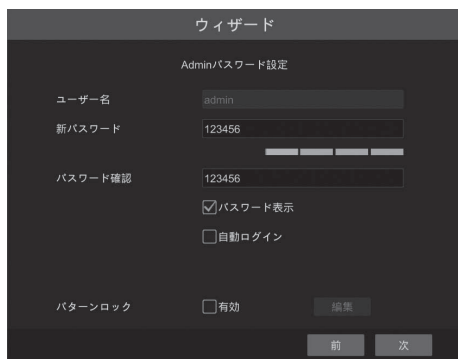
- ②タイムゾーンなどを選択し、「次」をクリックします。

- 本機をインターネットに接続している場合、「同期」の項目をNTPに設定することで、自動で時刻を設定できます。システムの「日時設定」(p.63)でも設定、変更できます。



- ③パスワードを設定し、「次」をクリックします。

- パターンロックの「有効」をチェックし、「編集」をクリックすると、パターンロックの設定が行えます。詳細は「パターンロック修正」(p.58)をご覧ください。



重要

- パスワードは必ず変更してください。パスワードは第三者に知られないように管理してください。
- 自動ログインの機能を有効にする場合、セキュリティについて十分に注意してご使用ください。

- ④パスワードに関する質問と回答を設定します。「質問」とその「答え」を入力し、「追加」をクリックします。設定が終わったら、「次」をクリックします。



重要

- パスワードを忘れたときに必要になるため必ず設定してください。
- 「質問」とその「答え」もパスワードと同様に、第三者に知られないように管理してください。

- ⑤ハードディスクの設定を確認し、「次」をクリックします。

- ハードディスクの初期化は出荷時に完了しています。



- ⑥画面中央の「ウィザード設定」をクリックします。



- ⑦本機をインターネットに接続する場合、ネットワークの設定を行い、「次」をクリックします。

- 「IPアドレス自動取得」および「DNS自動取得」にチェックを入れると、使用するルーターから設定情報を取得します。手動で設定する場合は、チェックを外して設定してください。



- ⑧使用するIPカメラを追加します。

- 「編集」をクリックし、IPカメラのユーザー名とパスワードを設定し、「OK」をクリックします。IPカメラの状態がオンラインになります。

設定が終わったら、「次」をクリックします。



- ⑨録画設定を行い、「次」をクリックします。

- 録画モード「自動」の場合、選択した録画設定をすべてのカメラに一括で設定できます。
- 録画モード「手動」の場合、カメラごとに録画設定できます。



- ⑩スマートフォンアプリを使用する場合は、アプリにQRコードを登録します。

- 詳細は「スマートフォンで映像を見る」(p.70)をご覧ください。
 - インターネット経由で本機にアクセスする場合、「NAT」にチェックを入れてください。
- 登録が終わったら、「次」をクリックします。



- ⑪本機能は使用しないでください。

「クラウドアップグレード」のチェックボックスは外してください。

「OK」をクリックすると、ウィザードを終了します。

- 本機のアップグレードはストレージ経由で行います。詳細は「更新」(p.65)をご覧ください。



以上で初期設定は終了です。

カメラのライブ映像を表示します。

ライブ画面



ツールバー



①	カメラ映像 設定されているカメラ映像を表示します。カメラ映像をダブルクリックすると、全画面表示になります。ドラッグアンドドロップでカメラ映像の位置を入れ換えることができます。詳細は「カメラ映像」(p.18)をご覧ください。
②	メインアイコン 「メインメニュー」(p.17)を表示します。
③	カメラ一覧 登録されているカメラの一覧を表示します。「表示モード変更」を選択すると、表示モードの登録、選択が行えます。
④	全画面 クリックすると全画面表示になります。カメラ一覧やツールバーが表示されなくなります。マウスカーソルを画面の右端に移動するとカメラ一覧が、画面の下端に移動するとツールバーが表示されます。もう一度クリックすると、全画面表示が終了します。
⑤	分割表示 カメラ映像を分割して表示します。1画面、4画面、9画面などから選択します。
⑥	自動画面切替 「出力設定」(p.63)に従って、指定の時間ごとにカメラ映像を切替えて表示します。切替時間を設定してアイコンをクリックすると、自動切替表示を開始します。再度アイコンをクリックすると自動切替表示を停止します。
⑦	OSD OSDの有効/無効を切替えます。
⑧	再生 録画データの「再生画面」を表示します。詳細は「再生する」(p.23)をご覧ください。
⑨	手動録画 接続されているカメラの手動録画を一斉に開始します。もう一度クリックすると、手動録画を一斉に終了します。
⑩	手動アラーム 本機能は使用しません。

⑪	録画状態 現在の録画状態が表示されます。
⑫	アラーム状態 現在のアラーム状態が表示されます。詳細は「アラーム状態」(p.51)をご覧ください。
⑬	HDD状態 現在のハードディスクの状態が表示されます。
⑭	ネットワーク状態 現在のネットワークの状態が表示されます。
⑮	情報 下記の情報が表示されます。 一般、カメラ状態、アラーム状態、録画状態、ネットワーク状態、HDD、バックアップ状態、ユーザー状態
⑯	クラウドアップグレード 本機能は使用しないでください。 「クラウドアップグレード」のチェックボックスは外してください。
⑰	日時 現在の日付と時刻を表示します。

メインメニュー

ライブ画面 (p.16)でメインアイコンをクリックすると表示します。



①	ユーザー ログインしているユーザー名が表示されます。
②	検索とバックアップ 「検索とバックアップ画面」を表示します。 詳細は「録画映像を検索してバックアップする」(p.28)をご覧ください。
③	再生 「再生画面」を表示します。詳細は「再生する」(p.23)をご覧ください。
④	設定 「設定メニュー」を表示します。詳細は「設定メニュー」(p.34)をご覧ください。
⑤	ログアウト ログアウトします。操作を行う場合はログインが必要になります。
⑥	終了 「ログアウト」、「再起動」、「終了」から選択します。 「終了」を選択すると本機をシャットダウンします。「システムのシャットダウン」(p.12)をご覧ください。

「ライブ画面」(p.16)の各カメラの映像をクリックするとツールバーが表示されます。ツールバーの左端をドラッグすることでツールバーを移動できます。また、右クリックすると「カメラメニュー」(p.19)が表示されます。



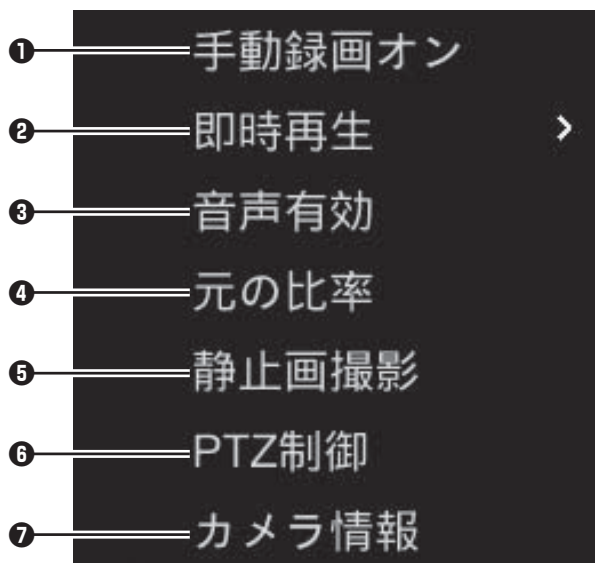
①	カメラ名
②	検知アイコン スマート検知時、または動体検知時に、それぞれのアイコンを表示します。
③	録画アイコン 録画中に録画アイコンを表示します。検知録画、常時録画、手動録画などの録画の種類に応じてアイコンの色が変わります。
④	PTZアイコン PTZ機能の設定が有効になっている場合にアイコンを表示します。
⑤	手動録画オン 手動録画を開始/停止します。
⑥	即時再生 選択したカメラの録画データが再生されます。
⑦	音声有効 音声の出力を有効/無効にします。音声出力を有効にすると、右上にアイコンが表示されます。
⑧	静止画撮影 静止画を撮影します。「保存」をクリックすると、ハードディスクに保存します。「出力」をクリックするとUSB接続しているストレージに保存します。
⑨	PTZ制御 「PTZ制御画面」を表示します。詳細は「PTZカメラを制御する」(p.20)をご覧ください。
⑩	画像調整 明るさやコントラストなどを調整します。 電動式ズームレンズを搭載したカメラについては、画角や焦点などを調整します。

ズームイン・ズームアウト

カメラを選択して、カメラ映像上でスクロールすることで、ズームイン・ズームアウトの操作が行えます。

カメラメニュー

カメラ映像を右クリックすると表示します。



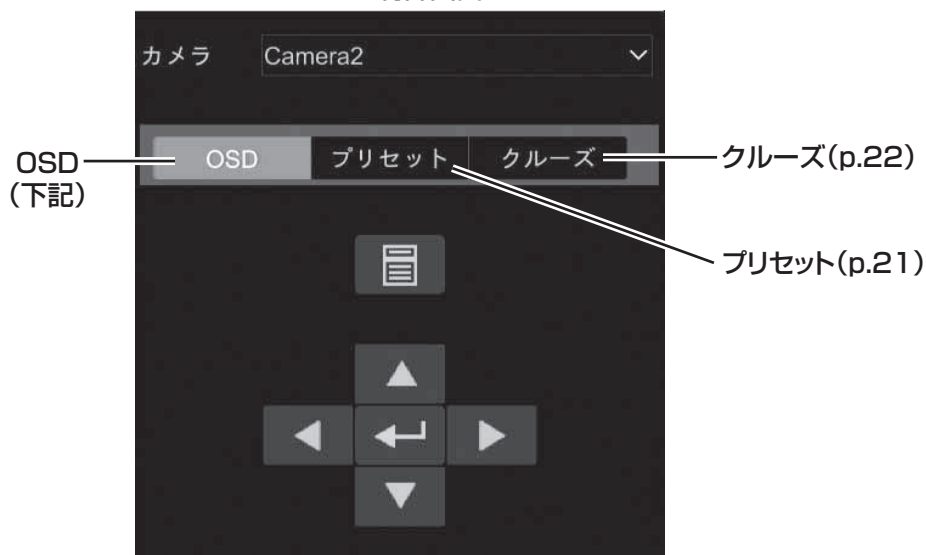
①	手動録画オン 手動録画を開始/停止します。
②	即時再生 選択したカメラの録画データが再生されます。
③	音声有効 音声の出力を有効/無効にします。
④	元の比率 カメラ映像の縦横比で表示します。
⑤	静止画撮影 静止画を撮影します。「保存」をクリックすると、ハードディスクに保存します。「出力」をクリックするとUSB接続しているストレージに保存します。
⑥	PTZ制御 「PTZ制御画面」を表示します。詳細は「PTZカメラを制御する」(p.20)をご覧ください。
⑦	カメラ情報 カメラの解像度やアドレスを表示します。 カメラ情報はIPカメラのみ表示されます。

「カメラ映像」(p.18)のツールバーにあるPTZ制御をクリックすると「PTZ制御画面」を表示します。カメラ自体の設定やPTZ制御を行えます。

ご注意

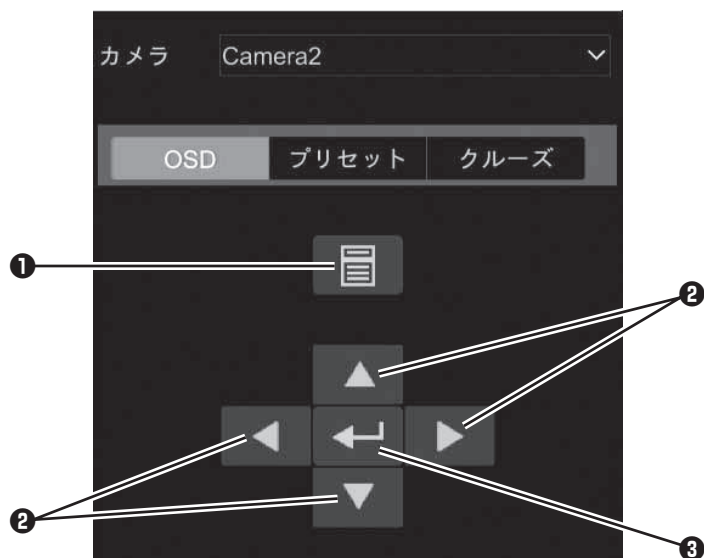
事前にPTZ制御のプロトコルなどを設定してください。
詳細は「PTZ」(p.42)をご覧ください。

PTZ制御画面



OSD

対応するカメラのOSDメニューを操作します。

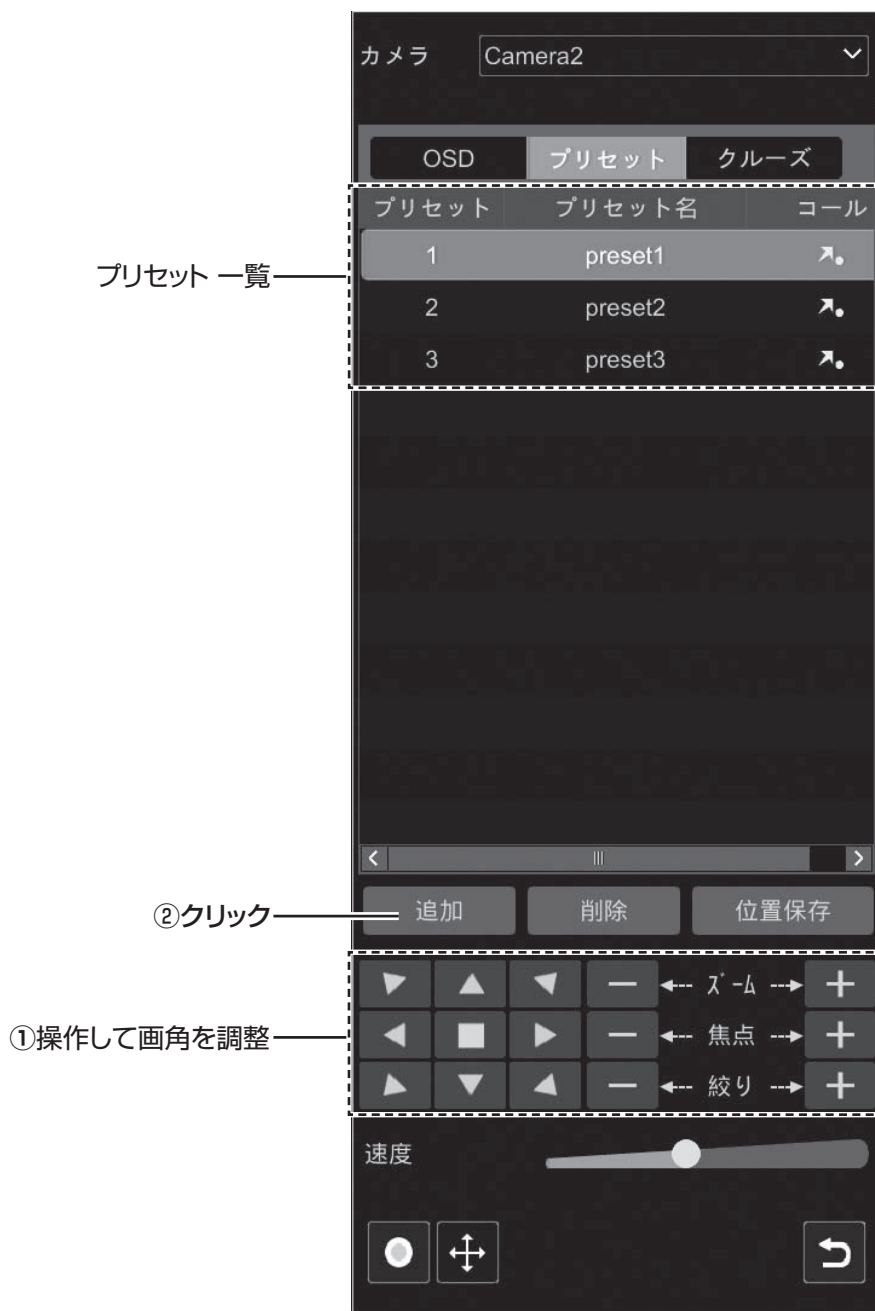


①	OSDメニュー OSDメニューを表示します。
②	カーソルキー OSDメニューのカーソルを操作します。
③	決定キー OSDメニューで設定を決定します。

プリセット

PTZを操作し、撮影する画角を登録します。

- ①カーソルキーやズームキーなどを操作して、撮影する画角を調整します。
- ②追加をクリックします。
 - 「プリセット追加」が表示されます。
- ③プリセット名を設定して「OK」をクリックし、プリセットを登録します。
 - 登録されたプリセットが一覧表示されます。



クルーズ

プリセットを順に撮影する、クルーズを登録します。

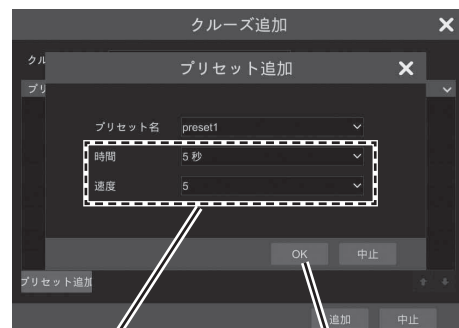
- ①「追加」をクリックします。
●「クルーズ追加」が表示されます。



- ②「プリセット追加」をクリックします。
●「プリセット追加」が表示されます。



- ③追加するプリセットを選択して、撮影する時間と移動速度を設定し、「OK」をクリックします。



時間と速度を設定

クリック

- ④クルーズするプリセットをすべて追加したら、クルーズ名を設定して「追加」をクリックし、クルーズを登録します。



クルーズ名を設定

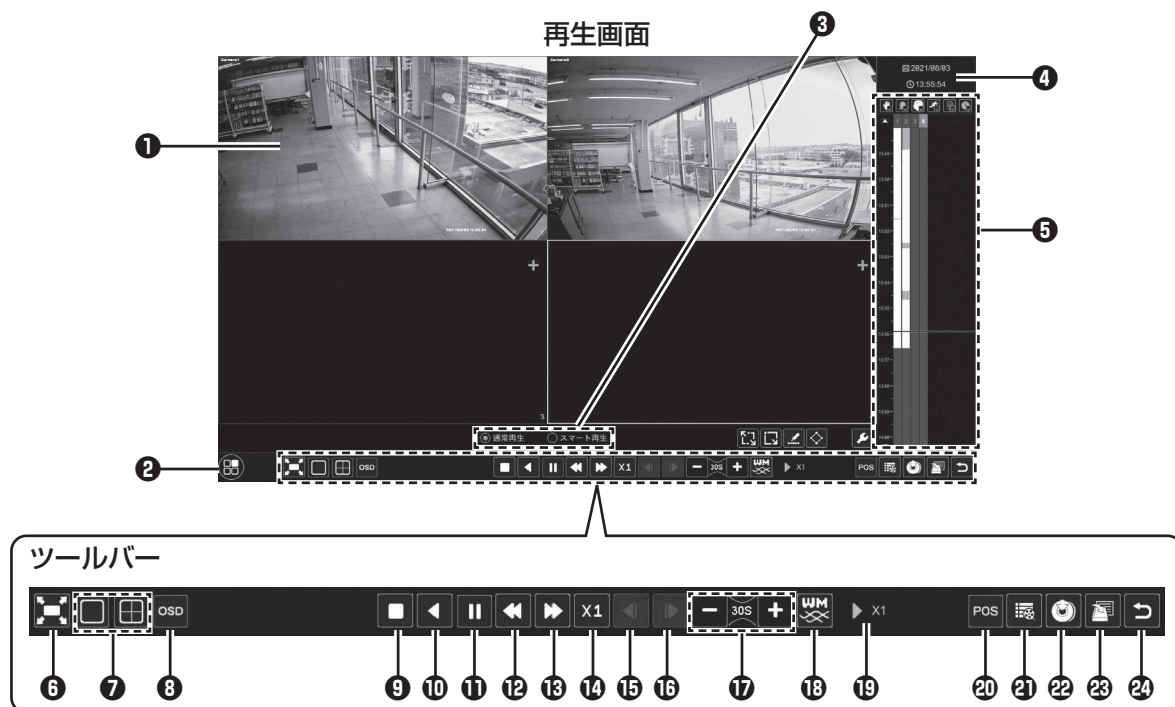
クリック

- ⑤登録されたクルーズが一覧表示されます。



「ライブ画面」(p.16)のツールバーにある再生ボタンをクリックすると「再生画面」を表示します。「再生画面」では、録画したカメラ映像を再生できます。

上記、再生ボタンの右側にある「ハ」をクリックすると再生を開始する時間を、5秒前、10秒前、30秒前、1分前、5分前から選択することができます。



①	再生映像 録画したカメラ映像を表示します。各カメラ映像をクリックすると、1画面表示に切り替わります。 詳細は「再生映像」(p.25)をご覧ください。
②	メインアイコン 「メインメニュー」(p.26)を表示します。
③	通常再生・スマート再生 「スマート再生」を選択すると、「スマート再生画面」(p.27)を表示します。 スマート再生の設定を行います。
④	日時指定 再生する日時を指定します。
⑤	シークバー 再生を開始する時間を指定します。 録画方式を選択することで、録画データをフィルターして表示できます。
⑥	全画面 クリックすると全画面表示になります。シークバーやツールバーが表示されなくなります。マウスカーソルを画面の右端に移動するとシークバーが、画面の下端に移動するとツールバーが表示されます。 もう一度クリックすると全画面表示が終了します。
⑦	分割表示 カメラ映像を分割して表示します。1画面、4画面などから選択します。
⑧	OSD OSDの有効/無効を切替えます。
⑨	停止 再生を停止します。 再生するカメラを選択できます。詳細は「再生するカメラを選択する」(p.26)をご覧ください。

⑩	逆再生 録画データを逆再生します。
⑪	再生/一時停止 クリックすると再生を一時停止します。もう一度クリックすると再生を再開します。
⑫	減速 再生速度を減速します。5段階の速度から選択できます。 元の速度に戻す場合は、「元の速度に戻す」をクリックします。
⑬	加速 再生速度を加速します。5段階の速度から選択できます。 元の速度に戻す場合は、「元の速度に戻す」をクリックします。
⑭	元の速度に戻す 再生速度を元の速度(1倍速)に戻します。
⑮	前フレーム 録画データを1フレームずつ逆再生します。 コマ送り逆再生は録画データが1画面表示で一時停止中にのみ使用できます。
⑯	次フレーム 録画データを1フレームずつ再生します。 コマ送り再生は録画データが1画面表示で一時停止中にのみ使用できます。
⑰	30秒スキップ -をクリックすると、録画データが30秒戻ります。 +をクリックすると、録画データが30秒進みます。
⑱	詳細 設定した文字列を表示します。詳細は「透かし文字表示設定」(p.39)をご覧ください。
⑲	再生状態 現在の再生状態を表示します。
⑳	POS表示 本機能は使用しません。
㉑	イベントリスト/タグ 動体検知などのイベント録画の一覧を表示します。
㉒	バックアップ シークバーでバックアップするカメラと時間帯を選択した後、クリックします。バックアップ情報が表示されたらバックアップをクリックすると「録画/バックアップ画面」を表示します。詳細は「録画映像をバックアップする」(p.33)をご覧ください。
㉓	バックアップ状態 バックアップの状態を表示します。バックアップの一時停止や再開、および削除が行えます。
㉔	戻る 前の画面に戻ります。

再生映像

各再生映像をクリックするとツールバーが表示されます。
 ツールバーの左端をドラッグすることでツールバーを移動できます。
 また、右クリックすると「メニュー画面」が表示されます。

再生映像



ツールバー

1 2 3 4 5

①	音声有効 音声の出力を有効/無効にします。
②	静止画撮影 静止画を撮影します。 「保存」をクリックすると、ハードディスクに保存します。 「出力」をクリックするとUSB接続しているストレージに保存します。
③	タグ追加 再生している映像にタグを追加できます。 タグは録画データの検索に使用できます。
④	カメラ切替 再生を終了し、別のカメラの録画データに切替えます。詳細は「再生するカメラを選択する」(p.26)をご覧ください。
⑤	カメラ終了 再生を終了し、カメラの録画データを再生対象から外します。

メニュー画面

再生映像を右クリックすると表示します。



①	音声有効 音声の出力を有効/無効にします。
②	元の比率 カメラ映像の縦横比で表示します。
③	静止画撮影 静止画を撮影します。 「保存」をクリックすると、ハードディスクに保存します。 「出力」をクリックするとUSB接続しているストレージに保存します。
④	タグ追加 再生している映像にタグを追加できます。 タグは録画データの検索に使用できます。
⑤	カメラ切替 再生を終了し、別のカメラの録画データに切替えます。詳細は「再生するカメラを選択する」(p.26)をご覧ください。
⑥	カメラ終了 再生を終了し、カメラの録画データを再生対象から外します。

メインメニュー

「再生画面」(p.23)でメインアイコンをクリックすると表示します。

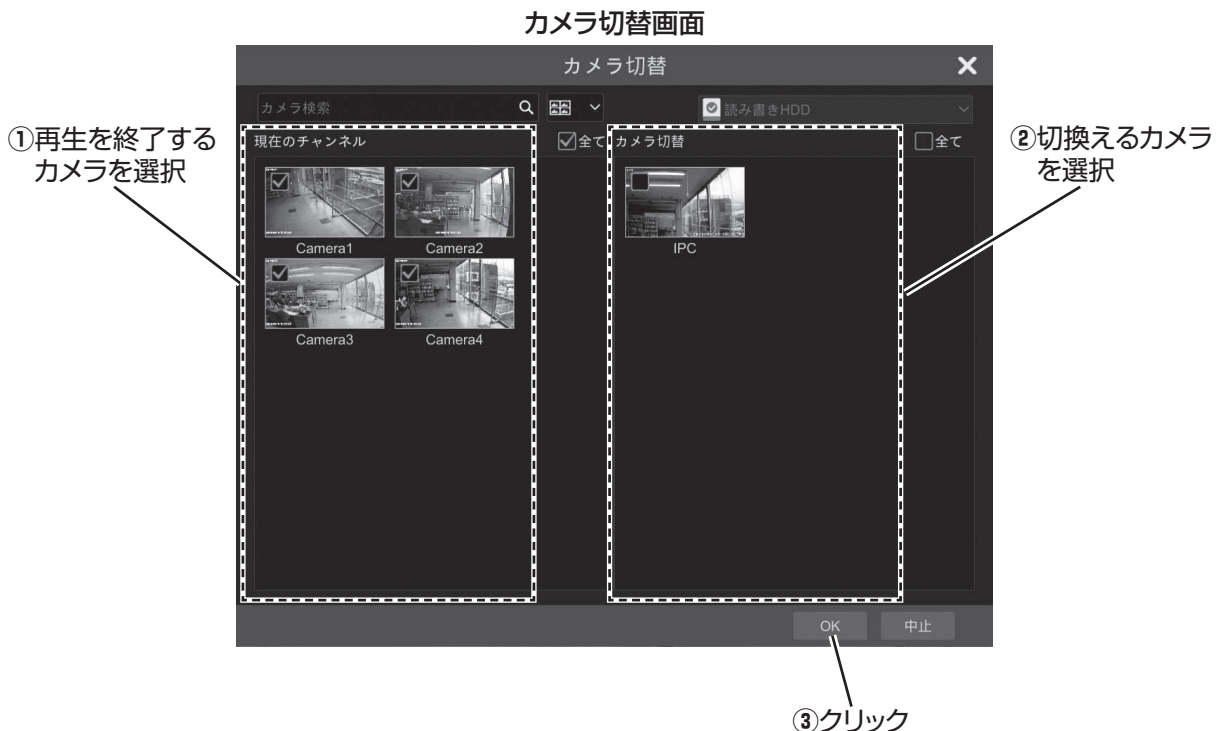


- | | |
|---|--|
| ① | 検索とバックアップ
「検索とバックアップ画面」を表示します。詳細は「録画映像を検索してバックアップする」(p.28)をご覧ください。 |
| ② | ライブ画面
「ライブ画面」(p.16)に戻ります。 |

再生するカメラを選択する

「カメラ切替画面」で再生するカメラを切換えます。

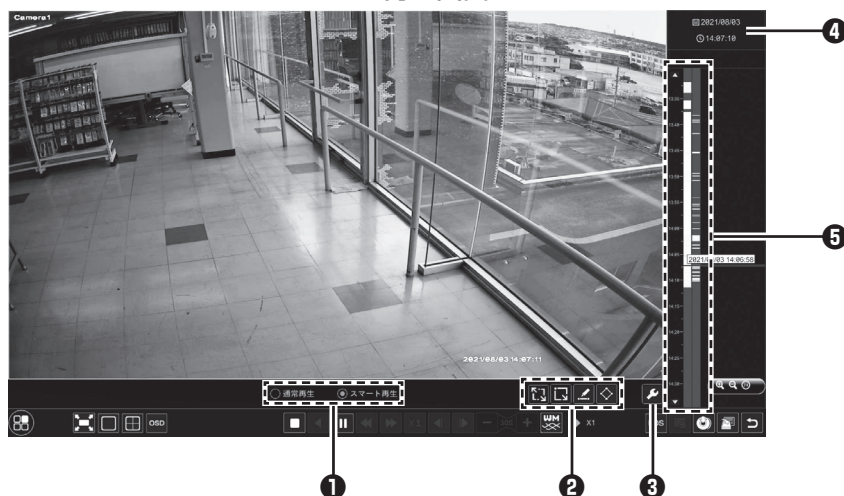
- ①現在のチャンネルで、再生を終了するカメラを選択します。
- ②カメラ切替で、切換えるカメラを選択します。
- ③OKをクリックすると再生するカメラが切換わります。



スマート再生

動体検知およびスマート検知の録画データを検索します。

スマート再生画面

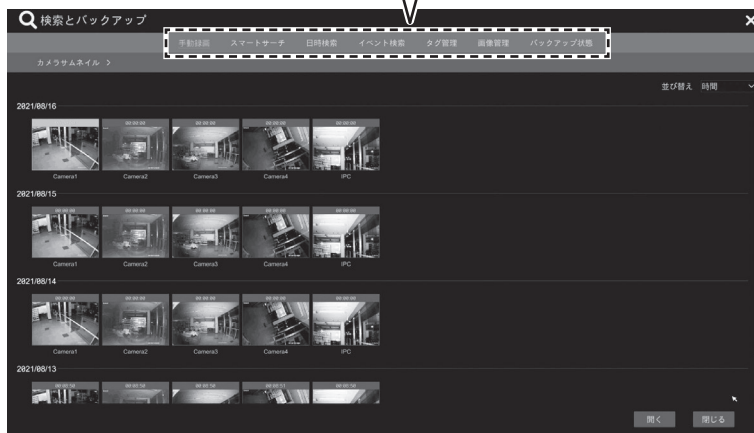


①	通常再生・スマート再生 「スマート再生」を選択すると、「スマート再生画面」を表示します。 「通常再生」を選択すると、元の「再生画面」(p.23)を表示します。
②	検出範囲 動体を検出する範囲を設定します。
③	設定 動体検知した箇所の再生速度や、動体の大きさを設定します。また、動体がない時間帯をスキップしたり、早送り再生を設定できます。
④	日時指定 再生する日時を指定します。
⑤	シークバー 再生を開始する時間を指定します。 左側には、元の録画データが表示されます。右側には、設定に従って検出された再生する時間帯が表示されます。

「メインメニュー」(p.17、p.26)の「検索とバックアップ」をクリックすると、「検索とバックアップ画面」を表示します。録画したカメラ映像を検索して、接続したストレージにバックアップすることができます。

録画映像を検索する

録画映像を各種の方法で検索することができます。



検索とバックアップ画面

①	手動録画 (p.29) 録画映像を手動で検索します。
②	スマートサーチ (p.30) ツールを使用して録画映像を検索します。
③	日時検索 (p.31) 日時を指定して録画映像を検索します。
④	イベント検索 (p.31) イベントを指定して録画映像を検索します。
⑤	タグ管理 (p.32) 「再生映像」(p.25)で追加したタグを一覧表示します。
⑥	画像管理 (p.32) 撮影した静止画を一覧表示します。
⑦	バックアップ状態 (p.32) バックアップの状態を表示します。

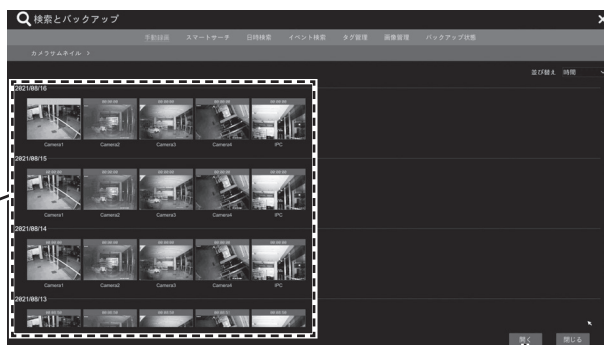
手動録画

録画映像を手動で検索します。

① 日付と各カメラの録画データから、検索する対象を選択し、「開く」をクリックします。

- 検索の対象をダブルクリックしても開きます。

検索する対象を選択



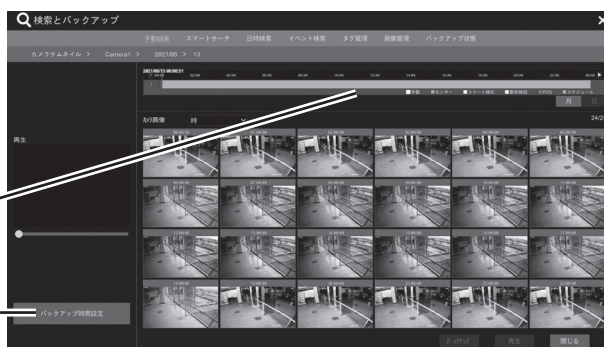
クリック

② 「バックアップ時間設定」をクリックし、バックアップする時間を設定します。

- 録画データを選択してもバックアップ時間を設定できます。
- シークバー上でバックアップする時間帯を選択しても設定できます。

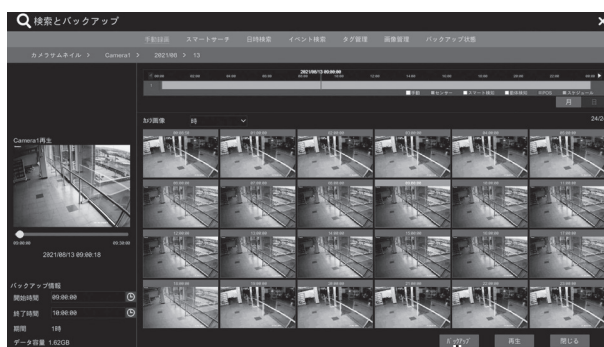
シークバー

クリック



③ 「バックアップ」をクリックします。

- 「録画/バックアップ画面」(p.33)を表示します。
- バックアップの詳細は、「録画映像をバックアップする」(p.33)をご覧ください。

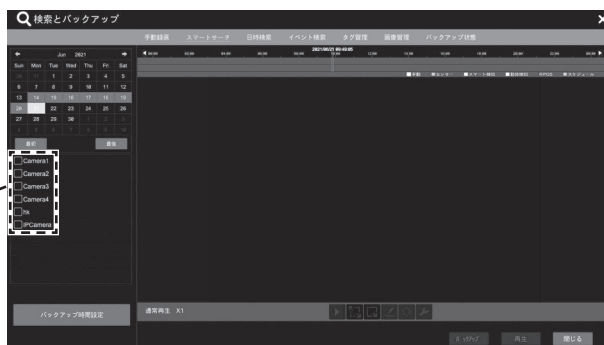


クリック

スマートサーチ

① 録画データを検索するカメラを選択します。

検索するカメラを選択



② スマートサーチのツールを使用して、録画データを検索します。

● 検索された録画データは上部のシークバーに表示されます。

シークバー

ツール

バックアップ時間設定



③ シークバー上でバックアップする時間帯を選択します。

● バックアップ時間設定でも設定できます。

④ 「バックアップ」をクリックします。

● 「録画/バックアップ画面」(p.33)を表示します。

● バックアップの詳細は、「録画映像をバックアップする」(p.33)をご覧ください。



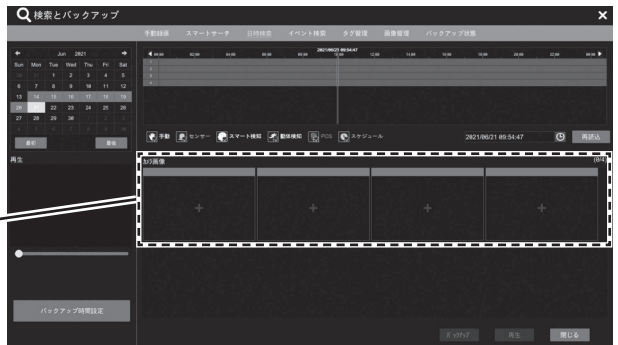
③ バックアップする時間帯を選択

④ クリック

日時検索

①+をクリックして検索するカメラを追加します。

検索するカメラを追加

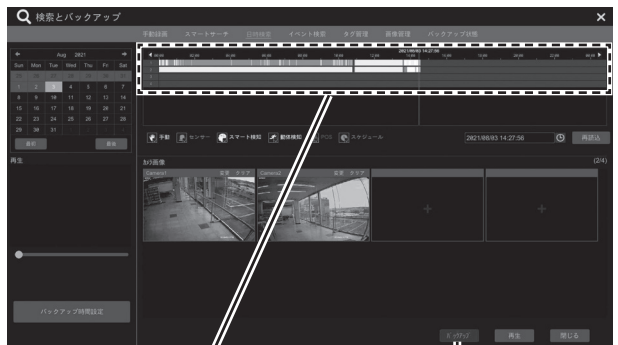


②カレンダーから日付を指定し、シークバー上でバックアップする時間帯を選択します。

●複数のカメラを同時に選択できます。

③「バックアップ」をクリックします。

- 「録画/バックアップ画面」(p.33)を表示します。
- バックアップの詳細は、「録画映像をバックアップする」(p.33)をご覧ください。



②バックアップする
時間帯を選択

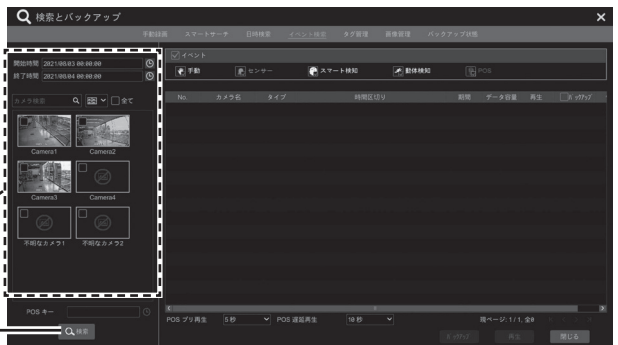
③クリック

イベント検索

①検索する日時を設定し、カメラを選択して、検索をクリックします。

日時を設定し、カメラを選択

クリック



②バックアップするイベントを選択します。

③「バックアップ」をクリックします。

- 「録画/バックアップ画面」(p.33)を表示します。
- バックアップの詳細は、「録画映像をバックアップする」(p.33)をご覧ください。

②バックアップする
イベントを選択

③クリック



タグ管理

「再生映像」(p.25)で追加したタグを一覧表示します。再生をクリックすると、タグを追加した時間から録画データが再生されます。

No.	名前	カメラ名	撮影時間	タグ	検索	バックアップ
1	Camera1_20210621090100	Camera1	2021/06/21 09:01:00		再生	管理
2	HA_20210621090300	HA	2021/06/21 09:03:00		再生	管理
3	IPCamera_20210621100100	IPCamera	2021/06/21 10:01:00		再生	管理

画像管理

撮影した静止画を一覧表示します。出力をクリックすると静止画をバックアップできます。

No.	カメラ名	静止画撮影モード	撮影時間	名前	ブラウザ	出力	削除
1	Camera3	アターム	2021/06/17 15:42:24	Camera3	再生	出力	管理
2	Camera2	アターム	2021/06/17 15:48:05	Camera2	再生	出力	管理
3	Camera1	アターム	2021/06/17 15:50:31	Camera1	再生	出力	管理
4	Camera4	アターム	2021/06/17 15:50:32	Camera4	再生	出力	管理
5	Camera3	アターム	2021/06/17 15:50:38	Camera3	再生	出力	管理
6	Camera2	アターム	2021/06/17 15:50:38	Camera2	再生	出力	管理
7	Camera4	アターム	2021/06/17 15:58:07	Camera4	再生	出力	管理
8	Camera2	アターム	2021/06/17 15:58:02	Camera2	再生	出力	管理
9	Camera3	アターム	2021/06/17 15:57:21	Camera3	再生	出力	管理
10	Camera4	アターム	2021/06/17 15:57:21	Camera4	再生	出力	管理
11	Camera2	アターム	2021/06/17 15:57:15	Camera2	再生	出力	管理
12	Camera2	アターム	2021/06/17 15:56:58	Camera2	再生	出力	管理
13	Camera2	アターム	2021/06/17 15:56:25	Camera2	再生	出力	管理
14	Camera1	アターム	2021/06/17 15:56:23	Camera1	再生	出力	管理
15	Camera4	アターム	2021/06/17 15:55:53	Camera4	再生	出力	管理
16	Camera2	アターム	2021/06/17 15:54:53	Camera2	再生	出力	管理
17	Camera2	アターム	2021/06/17 15:54:38	Camera2	再生	出力	管理
18	Camera4	アターム	2021/06/17 15:51:49	Camera4	再生	出力	管理
19	Camera3	アターム	2021/06/17 15:51:48	Camera3	再生	出力	管理

バックアップ状態

バックアップの状態を表示します。バックアップの一時停止や再開、および削除が行えます。

No.	時間区間	容量	データ容量	圧縮率	名前	進捗	状態	操作
1	2021/06/20 13:00:00~2021/06/20 13:15:00	15.0	56.4MB	IntelliExternalStorage...	admin	79.32%	停止	一時停止 再開
2	2021/06/21 01:00:00~2021/06/21 01:00:01	200	3.94GB	IntelliExternalStorage...	admin	1.79%	停止	一時停止 再開

録画映像をバックアップする

録画映像の検索時に「バックアップ」をクリックすると、「録画バックアップ画面」を表示します。

録画バックアップ画面

- ① 保存するデバイス名を選択して、「バックアップ」をクリックすると、バックアップが開始します。

● 録画データのファイル形式を選択できます。

AVI:

録画ファイルごとAVI形式で保存します。

専用ビューアー用:

専用のビューアーソフトで再生できる形式で保存します。
再生方法は「バックアップした映像を見る」(p.67)をご覧ください。

ご注意

AVIで保存したバックアップファイルは、H.264またはH.265の再生に対応するプレイヤーが必要です。Windows OS標準のプレイヤーでは再生できないことがあります。再生できない場合は、VLC Media Playerをダウンロードし、インストールしてから再生してください。

VLC Media Playerのダウンロードリンクはこちら
<https://www.videolan.org/vlc/index.ja.html>

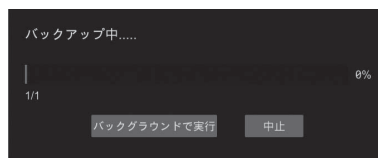


ファイル形式を選択

デバイス名

クリック

- バックアップ中に「バックグラウンドで実行」をクリックすると、他の操作が行えるようになります。
バックアップ状態の画面でバックアップの進行状況が確認できます。



- ② 「バックアップ成功」と表示されたらバックアップは完了です。

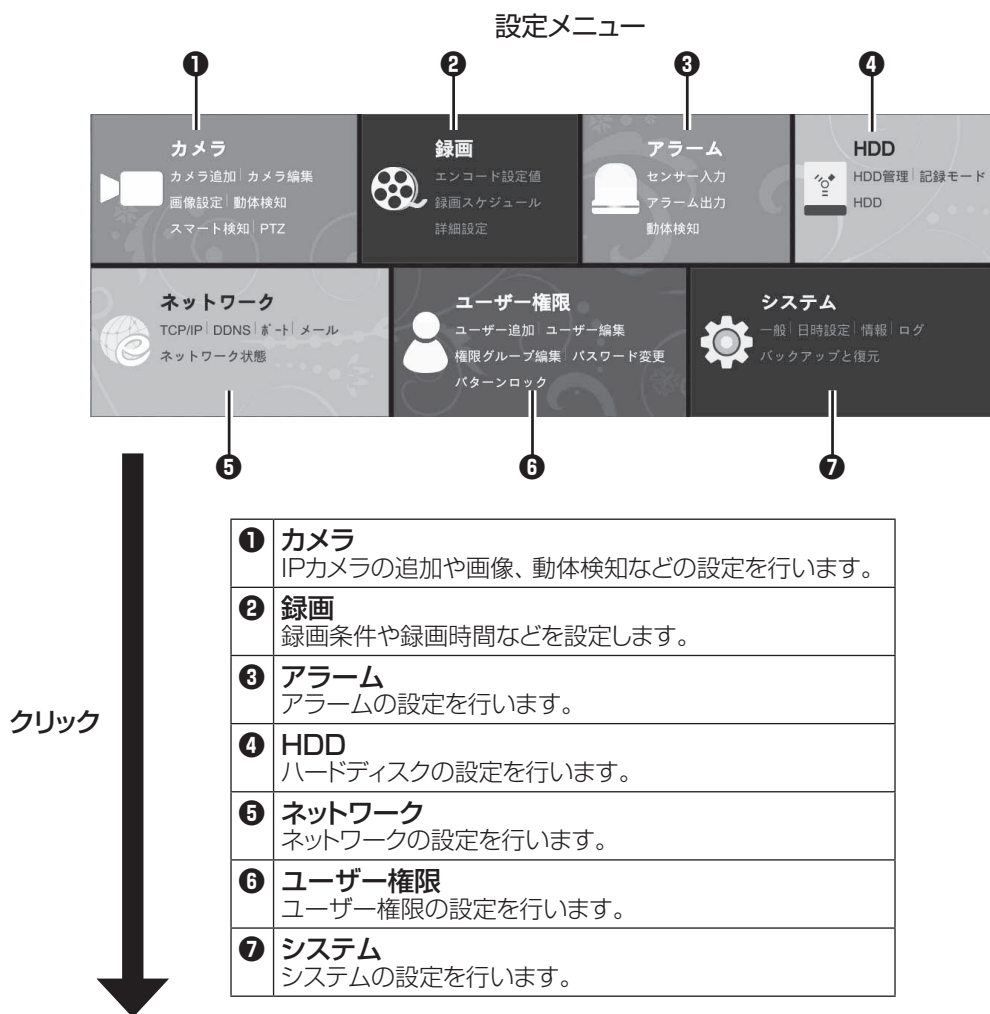
ご注意

バックアップ用ハードディスクは、全てのメーカー、形式の作動を保証するものではありません。

①「メインメニュー」(p.17)の「設定」をクリックします。

●「設定メニュー」が表示されます。

②設定する項目をクリックします。



設定メニュー 一覧

カメラ

カメラ管理

- カメラ追加 (p.36)
- カメラ信号 (p.36)
- カメラ編集 (p.37)

画像

- OSD設定 (p.38)
- 画像設定 (p.38)
- マスク設定 (p.38)
- 透かし文字表示設定 (p.39)

動体検知

- 動体検知設定 (p.39)

スマート検知

- 物体検知 (p.40)
- いたずら検知 (p.40)
- ラインクロス検知 (p.41)
- 侵入検知 (p.41)

PTZ

- プリセット (p.42)
- クルーズ (p.42)
- プロトコル (p.43)

録画

録画

- モード設定 (p.44)
- 詳細設定 (p.44)

エンコード設定値

- イベント録画設定 (p.45)
- スケジュール録画設定 (p.45)

録画スケジュール

- スケジュール設定 (p.46)
- スケジュール編集 (p.46)

録画状態

- 録画状態詳細 (p.46)

アラーム

イベント通知

- アラーム出力 (p.47)
- メール (p.47)
- 画面 (p.47)
- ブザー (p.47)
- 通知メッセージ (p.48)
- アラームサーバー (p.48)

動体検知

- アラーム処理設定 (p.49)

アラーム つづき

スマート検知警告

- 物体検知 (p.50)
- いたずら検知 (p.50)
- ラインクロス検知 (p.50)
- 侵入検知 (p.50)

センサー入力

- アラーム処理設定 (p.50)

異常

- IPCオフライン (p.51)
- ビデオロス設定 (p.51)
- 異常処理設定 (p.51)

アラーム状態

- アラーム状態詳細 (p.51)

HDD

HDD管理

- HDD管理 (p.52)

記録モード

- 記録モード設定 (p.52)

HDD

- HDD情報詳細 (p.52)
- S.M.A.R.T.情報 (p.52)

ネットワーク

ネットワーク

- TCP/IP (p.53)
- ポート (p.53)
- PPPoE (p.53)
- DDNS (p.53)
- メール (p.54)
- UPnP (p.54)
- NAT (p.54)
- 802.1x (p.54)
- FTP (p.55)
- プラットフォームアクセス (p.55)
- 3G/4G (p.55)
- SNMP (p.55)
- クラウドアップグレード (p.55)

ストリーム設定

- サブストリーム設定 (p.56)

ネットワーク状態

- ネットワーク状態詳細 (p.56)

ユーザー権限

ユーザー

- ユーザー追加 (p.57)
- ユーザー編集 (p.57)
- 権限グループ編集 (p.59)

セキュリティ

- 許可・不許可リスト (p.60)
- ログアウト時レビュー (p.61)
- パスワードセキュリティ (p.61)

ユーザー状態

- オンラインユーザー (p.61)

システム

一般

- 一般設定 (p.62)
- 日時設定 (p.63)
- 出力設定 (p.63)
- POS設定 (p.64)
- OSD設定 (p.64)

メンテナンス

- ログ (p.65)
- 初期設定 (p.65)
- 更新 (p.65)
- バックアップと復元 (p.65)
- 自動メンテナンス (p.65)

情報

- 一般 (p.66)
- カメラ状態 (p.66)
- アラーム状態 (p.66)
- 録画状態 (p.66)
- ネットワーク状態 (p.66)
- HDD (p.66)

カメラ管理

カメラ追加

IPカメラを追加します。カメラ追加には「簡単追加」と「手動追加」があります。

《簡単追加》

- ①同一ネットワーク内のIPカメラを検索し、見つかったカメラが一覧表示されます。
- ②一覧の中から、追加するカメラを選択し、「追加」をクリックします。
 - 複数台のカメラを一度に追加できます。

追加するカメラを選択

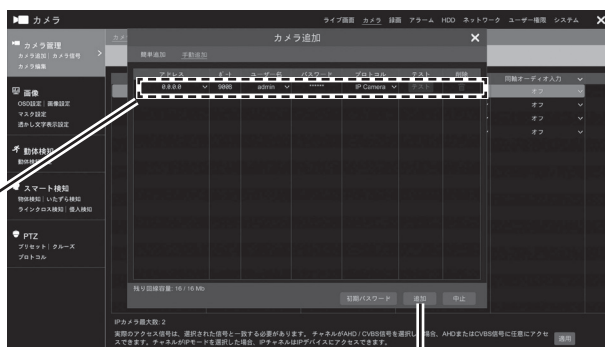


クリック

《手動追加》

- ①アドレスなどを入力します。
- ②「追加」をクリックします。

アドレスなどを入力



クリック

カメラ信号

カメラの信号規格をAHD、TVI、CVIの中から設定します。接続したカメラの信号規格に合わせて設定します。

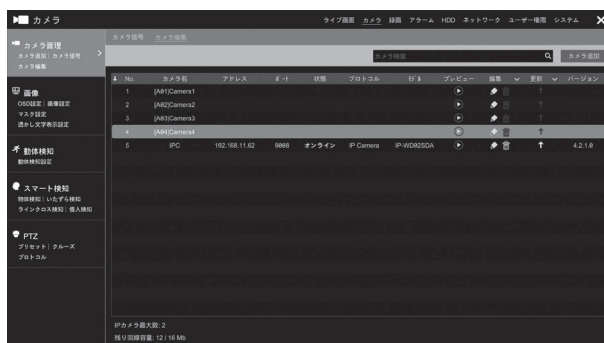


- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。

カメラ編集

編集を行うカメラが一覧表示されます。
編集のアイコンをクリックすると「カメラ編集画面」を表示します。

- 「プレビュー」をクリックすると、カメラのライブ映像のプレビューが表示されます。
- 「削除アイコン」をクリックすると、追加したIPカメラを削除します。



カメラ編集画面

「カメラ編集画面」では、カメラ名の変更や、IPカメラの設定を変更します。

カメラ編集

カメラ名

IPC

アドレス

192 . 168 . 11 . 62

☐ IPCと同期

ポート

9008

プロトコル

IP Camera

モデル

IP-WD02SDA

ユーザー名

admin

パスワード

.....

テスト

OK

中止

画像

OSD設定

カメラ映像に表示するOSDを設定します。

カメラ映像

OSDの表示位置をドラッグで調整できます。

カメラ名

OSDに表示するカメラ名を編集することができます。
設定したカメラ名は他の設定にも反映されます。

カメラ名表示

カメラ名のOSDをオン、オフします。

時刻表示

日時のOSDをオン、オフします。

日付形式

年/月/日の表示順を選択します。

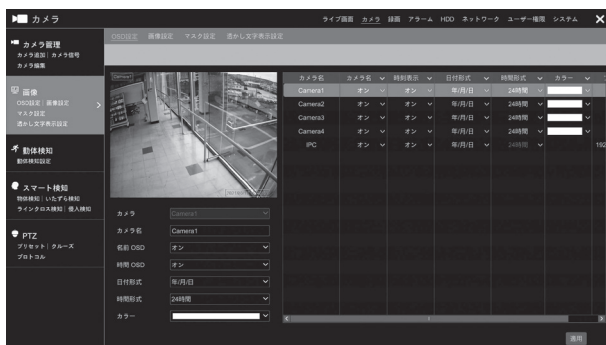
時間形式

時間の表示を24時間/12時間から選択します。

カラー

OSDの色を選択します。
IPカメラのカラーは白色固定になります。

- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



- IPカメラによって、OSDが表示される場面が異なることがあります。

画像設定

カメラ映像の明るさやコントラストなどを調整します。

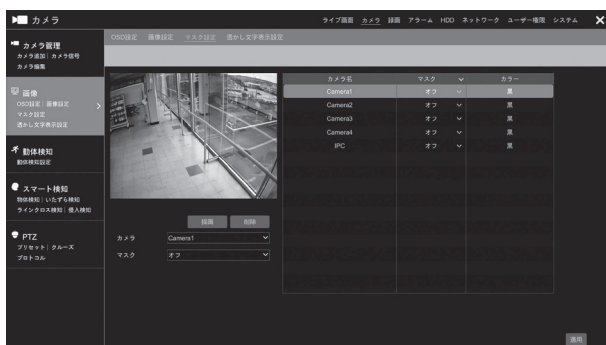
- 詳細をクリックすると、鮮明さやワイドダイナミックなどの詳細設定が行えます。カメラによっては対応しない項目がグレイアウトして表示されます。



マスク設定

カメラ映像の一部をマスクして表示します。

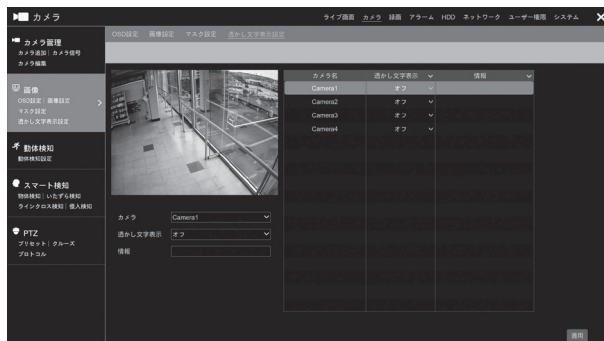
- ①「描画」をクリックして、マスクする範囲をドラッグします。
- ②「マスク」をオンに設定します。
- ③「適用」をクリックすると、設定が完了します。



透かし文字表示設定

録画映像に設定した透かし文字（15文字まで）を記録します。

- 透かし文字は個人用の録画データに記録され、専用ソフトで再生する際に表示できます。
- 右側の画面でも設定できます。
- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



動体検知

動体検知設定

動体検知の範囲や感度を設定します。

全て
撮影範囲の全てを検知範囲に設定します。

反転
検知範囲を反転します。

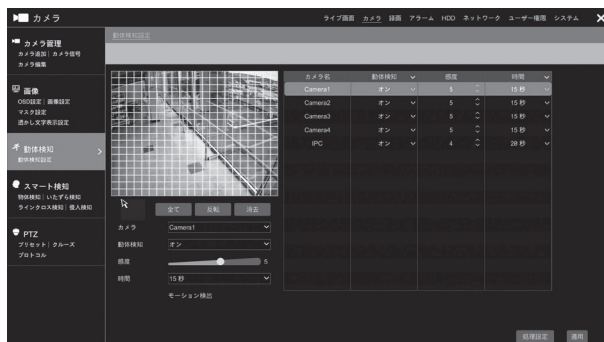
消去
検知範囲を削除します。

動体検知
動体検知をオン、オフします。

感度
検知感度を設定します。

時間
録画時間を設定します。

処理設定
アラーム処理設定の設定画面を表示します。詳細は「アラーム処理設定」(p.49)をご覧ください。



- IPカメラによって、動体検知の感度、感度設定が異なることがあります。

- 右側の画面でも設定できます。
- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。

スマート検知

ご注意 全てのカメラが対応しているわけではありません。

物体検知

置き去り物、持ち去り物を検知します。

検知エリア設定

チェックを入れると検知範囲を描写できます。

消去

検知範囲を消去します。

物体検知

検知をオン、オフします。

時間

録画時間を設定します。

検知タイプ

置き去り検知か、持ち去り検知かを選択します。

検知エリア

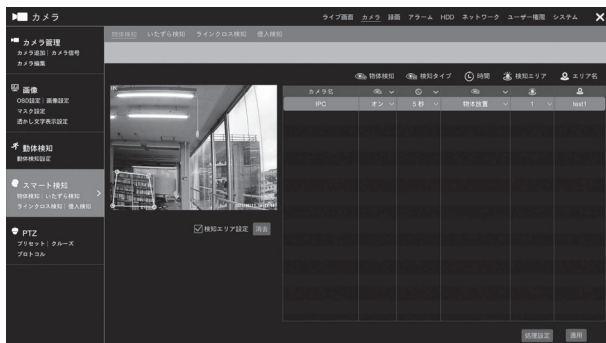
検知エリアを最大4つ設定できます。そのうち一つを選択します。

エリア名

検知エリアごとのエリア名を設定します。

処理設定

アラーム処理設定の設定画面を表示します。
詳細は「スマート検知警告」(p.50)をご覧ください。



- 物体検知は映像内情報の変化を解析して検知します。撮影対象物によっては、正しく検知しない可能性があります。
- 物体検知は検知後、検知前のデータが検知後のデータに上書きされます。検知前の状態を正とする場合は、再度、検知前の状態を再現して設定を保存してください。
- 物体検知は置き去り、持ち去りから検知するまでに数秒程度かかります。

- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。

いたずら検知

シーンチェンジ、ピンぼけ、色かぶりを検知します。

時間

録画時間を設定します。

シーンチェンジ

カメラ本体が動いて映像が変わったり、映像内の情報が大きく変わったりする場合に検知します。

ピンぼけ

カメラ映像の焦点が変わる場合に検知します。

色情報変化

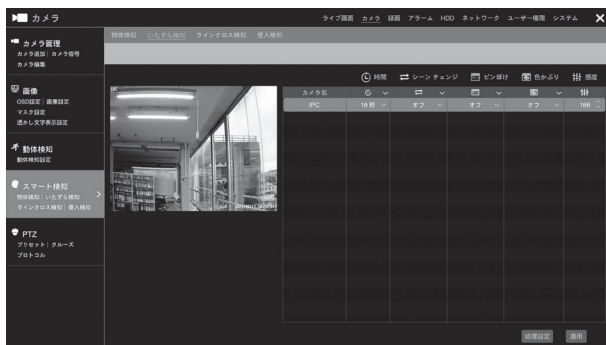
カメラ映像の色情報に大きな変化がある場合に検知します。

感度

検知感度を設定します。

処理設定

アラーム処理設定の設定画面を表示します。
詳細は「スマート検知警告」(p.50)をご覧ください。



- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。

ラインクロス検知

設定したラインを動体を超えると検知します。

警戒面設定

チェックを入れると検知ラインを描写できます。

消去

検知ラインを消去します。

ラインクロス検知

検知をオン、オフします。

時間

録画時間を設定します。

警戒面

検知ラインを最大4つ設定できます。そのうち一つを選択します。

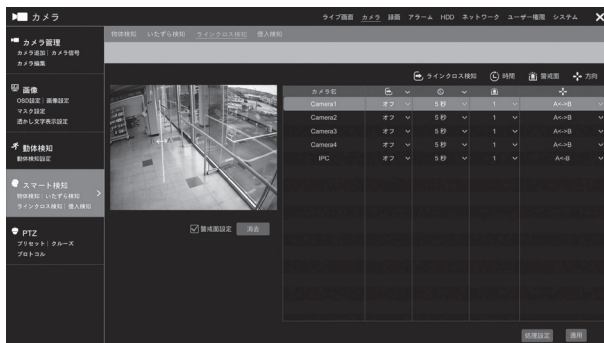
方向

検知方向を設定します。
カメラによっては対応しない項目があります。

処理設定

アラーム処理設定の設定画面を表示します。
詳細は「スマート検知警告」(p.50)をご覧ください。

●「適用」をクリックすると、設定が完了します。



●IPカメラによっては、設定した検知方向で作動しないことがあります。

侵入検知

設定した範囲で、設定した大きさの動体を検知します。

検知エリア設定

チェックを入れると検知範囲を描写できます。

消去

検知範囲を消去します。

侵入検知

検知をオン、オフします。

時間

録画時間を設定します。

検知エリア

検知エリアを最大4つ設定できます。そのうち一つを選択します。

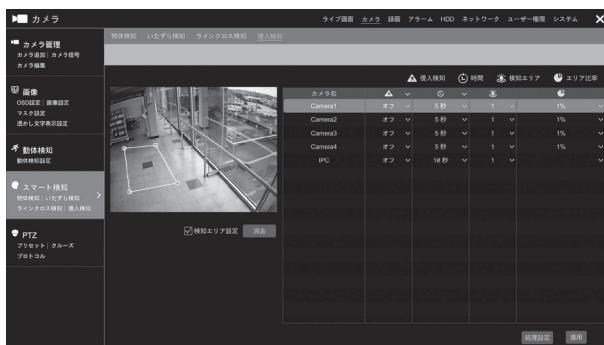
エリア比率

検知範囲に対する動体の占める割合を設定します。
●IPカメラによっては、対応しないことがあります。

処理設定

アラーム処理設定の設定画面を表示します。
詳細は「スマート検知警告」(p.50)をご覧ください。

●「適用」をクリックすると、設定が完了します。



PTZ

PTZに対応したカメラを制御します。

プリセット

撮影箇所を登録することができます。

カメラ

プリセットを登録するカメラを選択します。

プリセット

登録されているプリセットを選択できます。
プリセットを選択すると、登録された位置にPTZ制御されます。

プリセット名

選択しているプリセットの名前を表示します。
名前を変更して変更保存をクリックすると、名前の変更が完了します。

追加

現在表示している画角でプリセットを登録します。

削除

選択しているプリセットを削除します。

位置保存

選択しているプリセットに、現在表示している画角を上書き保存します。

●右側の画面に、各カメラのプリセット一覧を表示します。



クルーズ

クルーズを登録することができます。

新しくクルーズを登録するときは、選択したカメラの「+」をクリックします。登録方法は「クルーズ」(p.22)を参照してください。

カメラ

クルーズを登録するカメラを選択します。

クルーズ

登録されているクルーズを選択できます。

クルーズ名

選択しているクルーズの名前を表示します。
名前を変更して変更保存をクリックすると、名前の変更が完了します。

クルーズ開始

選択しているクルーズを開始します。

クルーズ停止

クルーズを停止します。

プリセット一覧

登録されているプリセットを表示します。

編集

プリセットの名前、時間、速度の編集を行います。

削除

選択しているプリセットを削除します。

プリセット追加

クルーズにプリセットを追加します。

●右側の画面に、各カメラのクルーズ一覧を表示します。



プロトコル

PTZの制御方式を設定します。

カメラ

プロトコルを設定するカメラを選択します。

PTZ

PTZ制御をオン、オフします。

プロトコル

使用するカメラに応じてPTZ制御方式を設定します。

ボーレート

使用するカメラに応じてプロトコルのボーレートを設定します。

アドレス

使用するカメラに応じてカメラのアドレスを設定します。

- 右側の画面でも設定できます。
- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



録画条件や録画時間などを設定します。

録画

モード設定

録画モード

録画モードを「自動」または「手動」から選択します。

モード

録画モードを選択します。

「自動」: 自動で録画設定をします。
すべてのカメラに対して、録画条件や時間帯を一括で設定します。

「手動」: 手動で録画設定をする場合に選択します。
録画スケジュールの設定が有効になります。

録画方法

設定したい録画方法を選択します。

詳細

好きな組み合わせで録画の条件を作成できます。
設定する条件にチェックを入れて、追加をクリックしてください。



録画方法

●センサー録画、POSレコードは本機では使用しません。

手動録画設定

手動録画の録画時間を設定します。

「手動」に設定すると手動で停止するまで録画します。

●「適用」をクリックすると、設定が完了します。

詳細設定

詳細録画設定

「上書き録画」にチェックを入れると、上書き録画を有効にします。

ハードディスクの空き容量がなくなると、古い録画ファイルから順に削除して録画を続けます。

カメラ録画パラメーター

カメラごとに録画時間や有効時間を設定します。

検知前録画時間

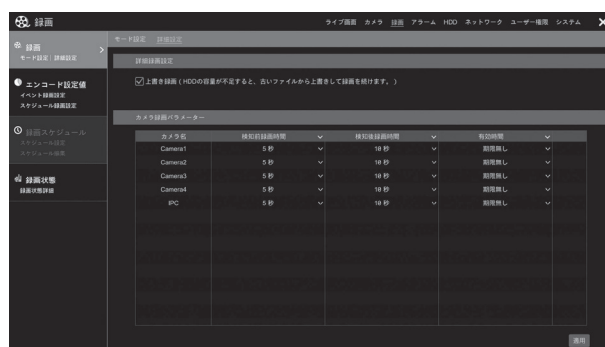
検知しときから、指定した時間をさかのぼって録画します。

検知後録画時間

検知による録画が終了した後、指定した時間を録画します。

有効時間

録画したときから設定した日数を経過すると、録画データを削除します。



●「有効時間」内の「カスタマイズ」は使用できません。

●「適用」をクリックすると、設定が完了します。

エンコード設定値

録画する解像度や画質を設定します。

イベント録画設定

動体検知などのイベント録画の画質を設定します。



スケジュール録画設定

連続録画の画質を設定します。



- GOPを設定する際、目安としてFPSの2倍の数値を設定してください。
- 画質を設定する場合は、設定した「画質」の「ビットレート推奨範囲」にビットレートを合わせます。

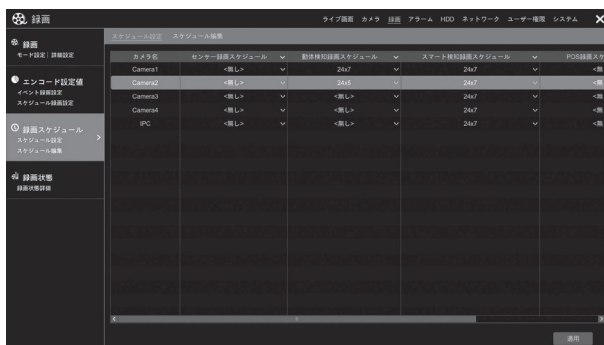
録画スケジュール

録画のスケジュールを設定します。

録画スケジュールを有効にするには、「録画モード」(p.44)を「手動」にしてください。

スケジュール設定

録画条件ごとに録画を行う時間帯を設定します。



- 本機ではPOS録画スケジュール、センサー録画スケジュールは使用しません。
- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。

スケジュール編集

録画を行う時間帯を編集できます。



スケジュール追加画面

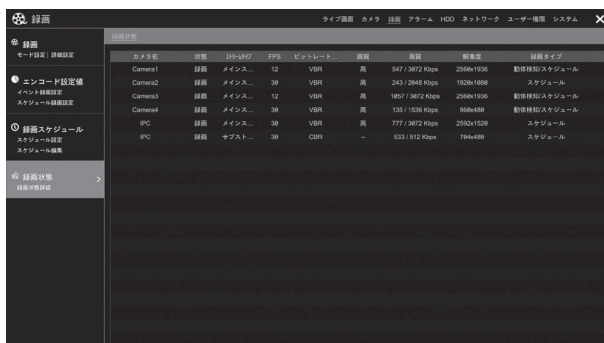


- 右上の「+」をクリックすると「スケジュール追加画面」が表示されます。新たなスケジュールを追加できます。

録画状態

録画状態詳細

現在の録画状態が一覧表示されます。



イベント通知

アラーム出力

本機能は使用しません。

メール

メール受信者の設定を行います。

受信者

メール通知を受信するメールアドレスを表示します。

スケジュール

メール通知ごとに受信する時間帯を選択します。時間帯は「スケジュール編集」(p.46)で編集できます。新たなスケジュールを追加できます。

削除

登録されているメールアドレスを削除します。

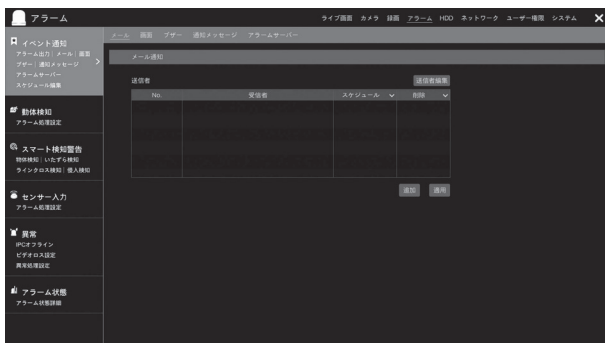
送信者編集

ネットワーク設定の送信者の設定画面に遷移します。

追加

追加をクリックすると受信者追加が表示されます。受信するメールアドレスを設定します。

- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



画面

アラーム発報時にカメラ映像を表示するときの設定を行います。

画像表示

時間

カメラ映像を表示する時間を設定します。

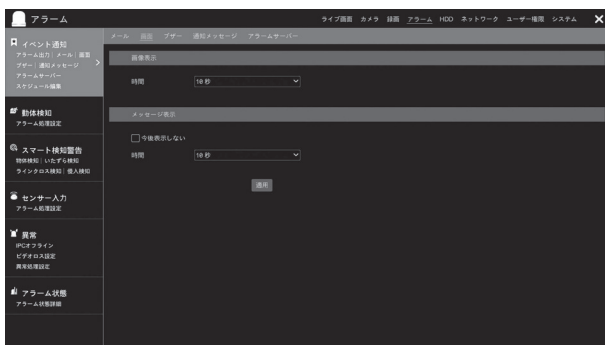
メッセージ表示

今後表示しない

チェックを入れると、メッセージ表示を行いません。

時間

メッセージを表示する時間を設定します。



- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。

ブザー

アラーム発報時に本機のブザーを発報する時間を設定します。

- 「テスト」をクリックすると、ブザーの作動を確認できます。
- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



通知メッセージ

スマートフォンアプリへのプッシュ通知の設定を行います。

有効

チェックを入れると通知メッセージを行います。

通知スケジュール

通知メッセージを行う時間帯を設定します。
時間帯は「スケジュール編集」(p.46)で編集できます。新たなスケジュールを追加できます。

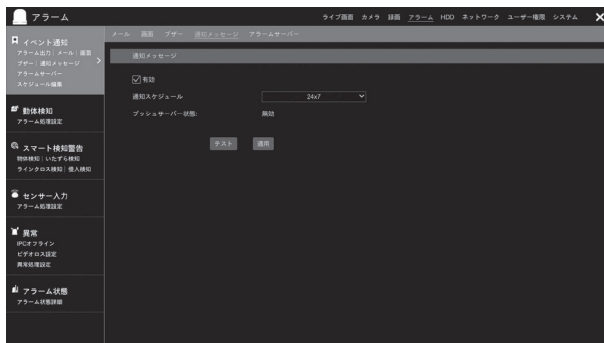
プッシュサーバー状態

プッシュサーバーの状態を表示します。

テスト

通知メッセージのテストが行えます。

- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



アラームサーバー

本機能は使用しません。

スケジュール編集

「スケジュール編集」(p.46)をご覧ください。

動体検知

アラーム処理設定

カメラごとに動体検知したときの作動を設定します。

スケジュール

動体検知を行う時間帯を設定します。
時間帯は「スケジュール編集」(p.46)で編集できます。
新たなスケジュールを追加できます。

録画

チェックを入れると検知録画の設定画面(右記)を表示します。
動体検知があったときに、録画を行うカメラを選択します。

静止画撮影

チェックを入れるとスナップショット起動の設定画面を表示します。
動体検知があったときに、静止画を撮影するカメラを選択します。

プッシュ通知

アプリへの通知メッセージをオン、オフします。

アラーム出力

本機能は使用しません。

プリセット

チェックを入れるとプリセット起動の設定画面を表示します。
動体検知があったときに、PTZ制御するプリセットを選択します。

ブザー

本機のブザーをオン、オフします。

画像表示

動体検知があったときに、一画面表示するカメラを選択します。

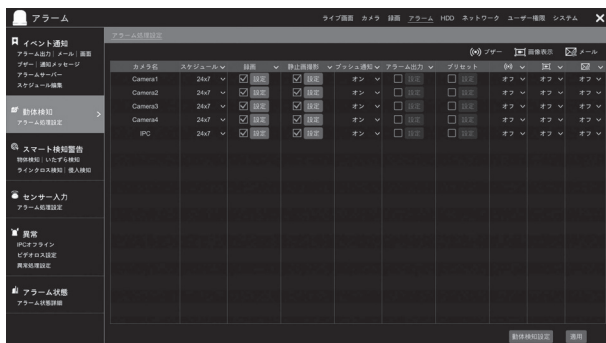
メッセージ表示

動体検知があったときに、モニターにメッセージを表示します。

メール

動体検知があったときに、メールを送信します。
メールアドレスの設定は、「メール」(p.47)をご覧ください。

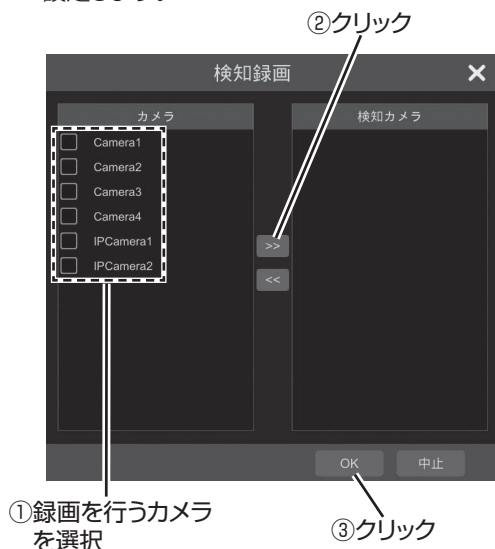
- 「動体検知設定」をクリックすると、「動体検知設定」(p.39)の設定画面を表示します。
- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



検知録画の設定画面

「録画」にチェックを入れる则表示します。

- ①画面左側のカメラの一覧から録画を行うカメラを選択します。
 - ②右向きの矢印をクリックして、検知カメラに追加します。
 - ③OKをクリックして設定を完了します。
- 静止画撮影やアラーム出力についても、同様に設定します。

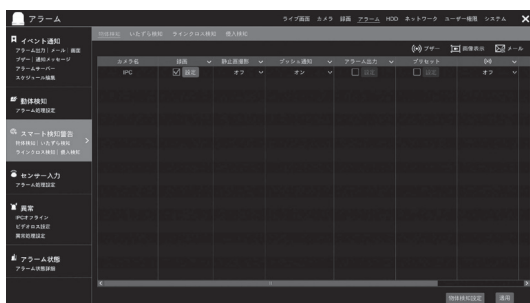


スマート検知警告

物体検知

物体検知の設定を行います。
設定項目の内容は、「動体検知」(p.49)をご覧ください。

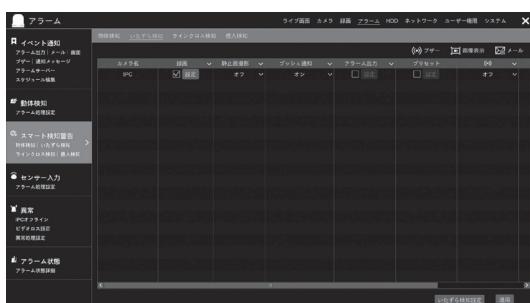
- 「物体検知設定」をクリックすると、「物体検知」(p.40)の設定画面を表示します。
- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



いたずら検知

いたずら検知の設定を行います。
設定項目の内容は、「動体検知」(p.49)をご覧ください。

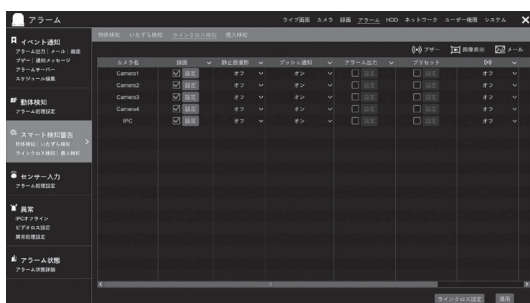
- 「いたずら検知設定」をクリックすると、「いたずら検知」(p.40)の設定画面を表示します。
- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



リンクロス検知

リンクロス検知の設定を行います。
設定項目の内容は、「動体検知」(p.49)をご覧ください。

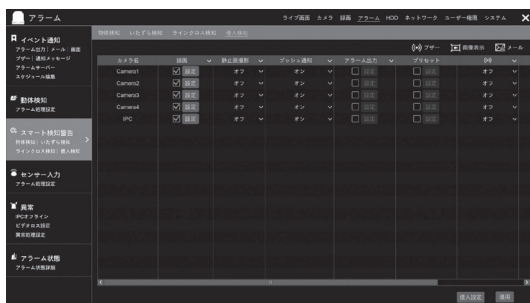
- 「リンクロス設定」をクリックすると、「リンクロス検知」(p.41)の設定画面を表示します。
- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



侵入検知

侵入検知の設定を行います。
設定項目の詳細は、「動体検知」(p.49)をご覧ください。

- 「侵入設定」をクリックすると、「侵入検知」(p.41)の設定画面を表示します。
- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



センサー入力

アラーム処理設定

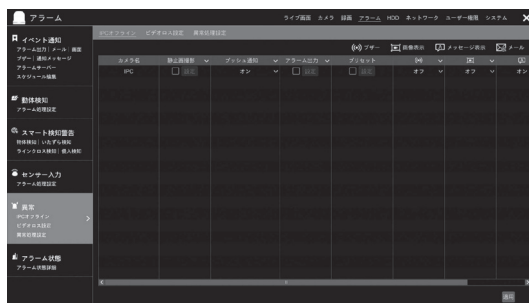
本機能は使用しません。

異常

IPCオフライン

IPCカメラがオフラインになったときの作動を設定します。設定項目の内容は、「動体検知」(p.49)をご覧ください。

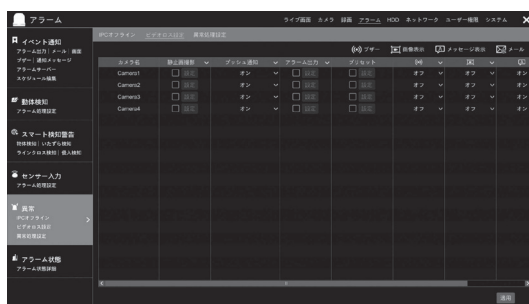
- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



ビデオロス設定

AHDカメラの信号が切断されたときの作動を設定します。設定項目の内容は、「動体検知」(p.49)をご覧ください。

- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



異常処理設定

本機の状態異常が起きたときの作動を設定します。設定項目の内容は、「動体検知」(p.49)をご覧ください。

IPアドレス競合

本機のIPアドレスの競合を検知します。

HDD IOエラー

ハードディスクの入出力の異常を検知します。

HDD一杯

ハードディスクの空き容量がなくなると検知します。

HDD無し

ハードディスクの接続が無くなると検知します。

ネットワーク切断

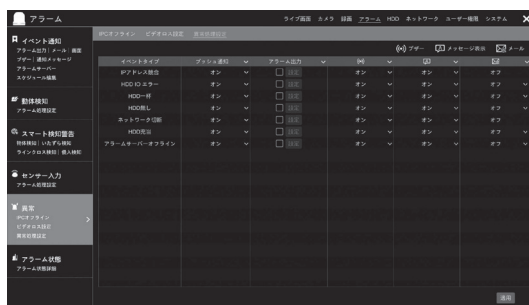
ネットワークの接続が無くなると検知します。

HDD充当

ハードディスクが引き抜かれると検知します。

アラームサーバーオフライン

本機能は使用しません。



- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。

アラーム状態

アラーム状態詳細

アラームの状態を一覧表示します。

- 「消去」をクリックすると、ブザーを停止します。

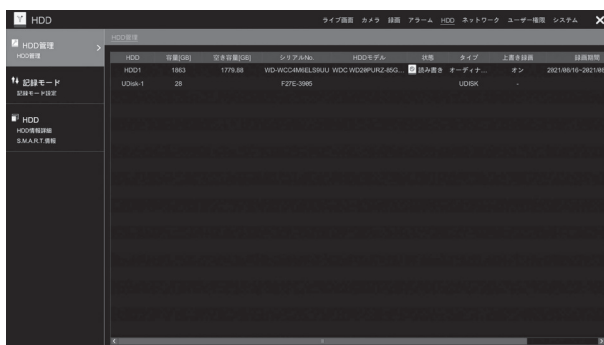


HDD管理

HDD管理

ハードディスクの状態を表示します。

- 「初期化」をクリックするとハードディスクを初期化します。



記録モード

記録モード設定

本機能は使用しません。

HDD

HDD情報詳細

ハードディスクの状態を表示します。



S.M.A.R.T.情報

ハードディスクのSMART情報を表示します。状態の異常が表示された場合は、ハードディスクの交換が必要です。

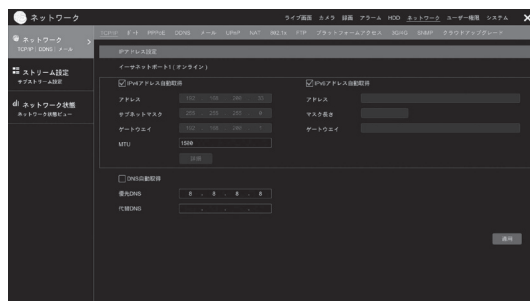


ネットワーク

TCP/IP

IPアドレスおよびDNSを設定します。
「DNS自動取得」にチェックを入れると、ネットワーク上から設定内容を取得します。

- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



ポート

本機が使用するプロトコルのポートを設定します。
ネットワークの環境に従って設定してください。

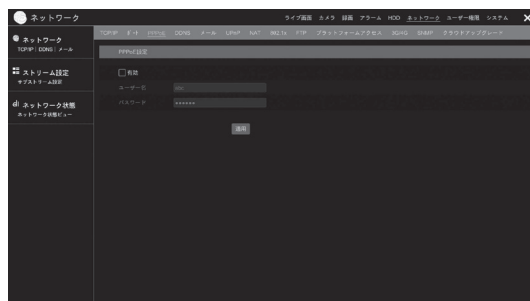
- POSポートは、本機では使用しません。
- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



PPPoE

PPPoEを使用する場合に設定します。

- ①「有効」にチェックを入れます。
- ②プロバイダーから提供されるユーザー名とパスワードを入力して、「適用」をクリックします。

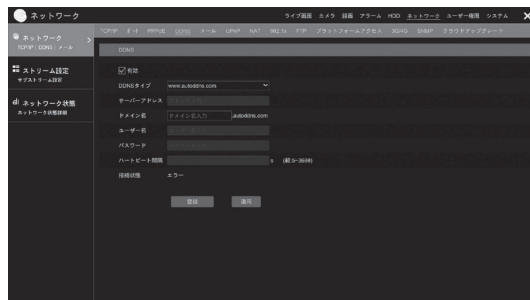


DDNS

DDNSを使用する場合に設定します。

- ①「有効」にチェックを入れます。
- ②「DDNSタイプ」のリストから、使用するDDNSを選択します。
- ③使用するDDNSで登録した、ドメイン名、ユーザー名、およびパスワードを入力して、「適用」をクリックします。

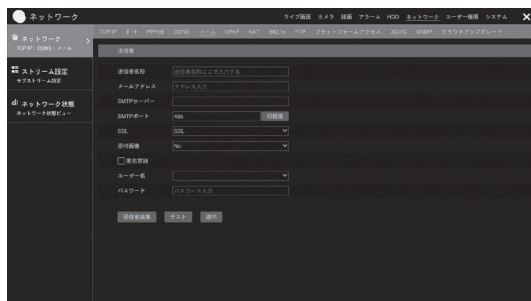
- autoddnsは、本機からDDNSの登録が行えます。希望するドメイン名を入力して登録をクリックしてください。すでに使用されているドメイン名の場合は、その旨のメッセージが表示されるため、再度、別のドメイン名を設定してください。



メール

メールの送信者を設定します。
使用するメールサーバーに従って設定してください。

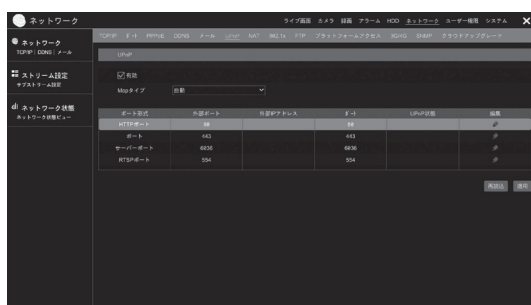
- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



UPnP

「有効」にチェックを入れると、UPnPを使用してポートの設定を行います。

- Mapタイプを「手動」にすると、外部ポートを手動で設定できます。
- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



NAT

「有効」にチェックを入れると、NATサーバーを使用して NAT Traversalを行います。

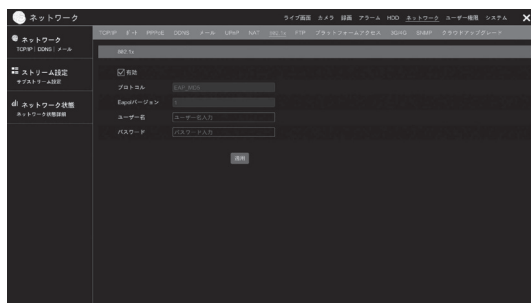
- スマートフォンアプリなどを使用して本機に接続する場合、「有効」にしてください。スマートフォンアプリの設定で、画面に表示されるQRコードを利用できます。
- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



802.1x

IEEE802.1xを利用した認証を行う場合、「有効」にチェックを入れてください。
認証サーバーに従って設定してください。

- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



FTP

FTPサーバーへの通知を設定します。
FTPサーバーに従って設定してください。

- カメラごとに設定したスケジュール、および検知条件にしたがって、FTPサーバーに動画や静止画をアップロードします。



プラットフォームアクセス

本機能は使用しません。

3G/4G

本機能は使用しません。

SNMP

本機能は使用しません。

クラウドアップグレード

本機能は使用しないでください。
「アップグレードオプション」は「終了」を選択してください。

- 本機のアップグレードはストレージ経由で行います。
詳細は「更新」(p.65)をご覧ください。

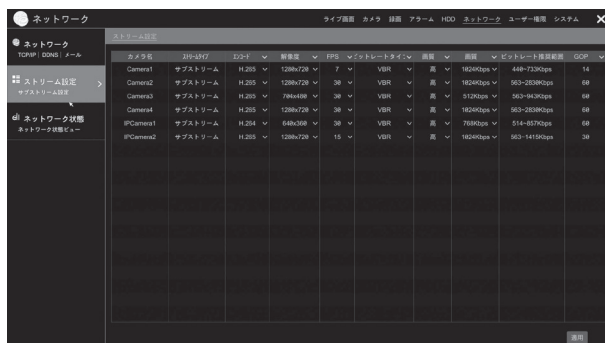


ストリーム設定

サブストリーム設定

サブストリームの画質を設定します。

- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



ネットワーク状態

ネットワーク状態詳細

ネットワークの設定状態を表示します。



ユーザー

ユーザー追加

ユーザーの追加を行います。

「ユーザー追加」をクリックすると「ユーザー追加」画面を表示します。

ユーザー名 ユーザー名を設定します。
パスワード パスワードを設定します。
パスワード確認 確認のためのパスワードを設定します。
パスワード表示 チェックを入れると、パスワードを表示します。
パスワード変更許可 チェックを入れると、ユーザー自身にパスワードの変更を許可します。
パターンロック チェックを入れると、パターンロックが有効になります。 「編集」をクリックしてパターンを登録してください。
メール ユーザーのメールアドレスを登録します。(任意)
グループ ユーザーの権限を選択します。

- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。

ユーザー編集

登録されているユーザーが一覧表示されます。

- 「編集」をクリックすると編集項目が表示されます。

パスワード変更

- ①現在のパスワードを入力します。
- ②新パスワードとパスワード確認を入力し、
「OK」をクリックするとパスワードを変更します。

パターンロック修正

パターンロックを設定、変更できます。

①パターンロックを有効にし、編集をクリックします。

②パターンロックを登録します。

- 4点以上を設定します。
- 同じパターンを2回繰り返すと設定されます。

③「OK」をクリックし、設定を完了します。

ユーザー編集

有効
チェックを外すと、アカウントを無効にします。
権限制御終了
チェックを入れると、権限制御を行いません。すべての操作、設定が行えます。
パスワード変更許可
チェックを入れると、ユーザー自身にパスワードの変更を許可します。
メール
ユーザーのメールアドレスを登録します。(任意)
グループ
ユーザーの権限を選択します。

- 「OK」をクリックすると、設定が完了します。

秘密の質問編集

秘密の質問を追加、削除します。

- 秘密の質問はパスワードを忘れたときに、パスワード復旧で使用します。
詳細は「ログイン」(p.13)をご覧ください。

権限グループ編集

権限の編集や新たに権限グループを追加します。

- ① 右上の「+」をクリックすると、「権限グループ追加」が表示されます。



- ② グループ名と各権限を設定し、「追加」をクリックします。



セキュリティ

許可・不許可リスト

本機に接続するIPカメラやユーザーのIPアドレスやMACアドレスを制限します。

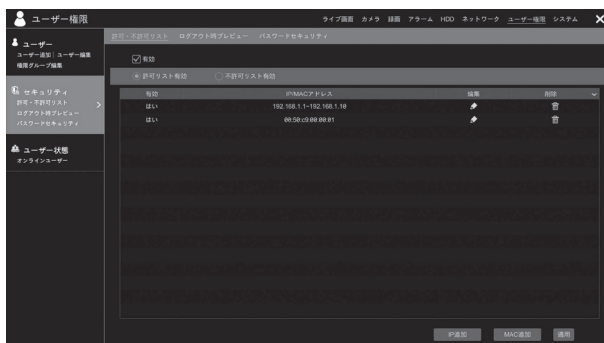
- ①「有効」にチェックを入れます。
- ②「許可リスト有効」または「不許可リスト有効」を選択します。

許可リスト有効

設定したIPアドレスやMACアドレスからの接続を許可します。
リストにないIPアドレスやMACアドレスからの接続を拒否します。

不許可リスト有効

設定したIPアドレスやMACアドレスからの接続を拒否します。



- ③IPアドレスを追加する場合、「IP追加」をクリックします。

- 「IP追加」を表示します。

MACアドレスを追加する場合、「MAC追加」をクリックします。

- 「MAC追加」を表示します。

IP追加

有効

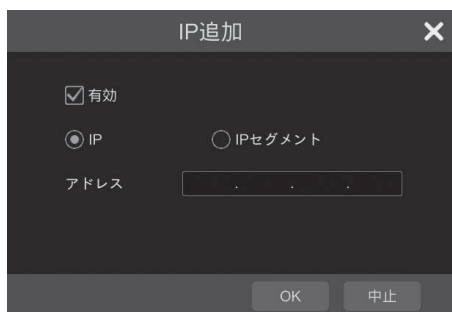
チェックを入れると、設定を有効にします。

IP

アドレスにIPアドレスを設定します。

IPセグメント

IPアドレスを範囲で設定します。



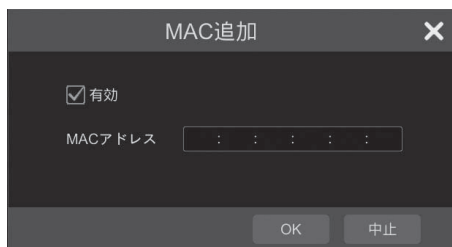
MAC追加

有効

チェックを入れると、設定を有効にします。

MACアドレス

MACアドレスを設定します。



- ④「適用」をクリックすると、設定が完了します。

ログアウト時プレビュー

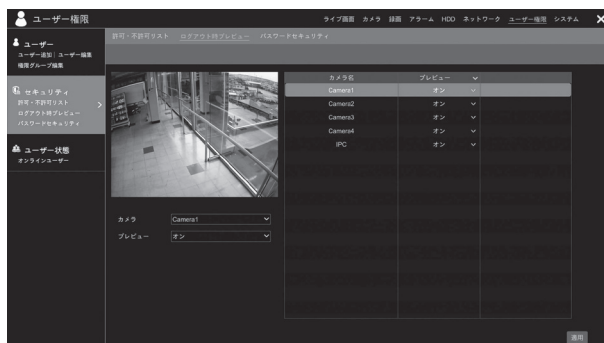
ログアウトしているときに、映像を表示するカメラを設定します。

カメラ

設定するカメラを選択します。

プレビュー

「オン」を選択すると、ログアウトしているときに映像を表示します。



パスワードセキュリティ

設定できるパスワードのセキュリティレベルを設定します。

レベル	文字数	文字の種類 (数字、小文字、大文字、記号)
弱	特になし	特になし
中	8 ～ 16文字	2種類以上を含むこと
強力	8 ～ 16文字	3種類以上を含むこと
強く	9 ～ 16文字	全種類を含むこと

レベル

設定できるパスワードのレベルを設定します。

有効期限

パスワードの有効期限を設定します。
期限無し、30日、90日、180日から選択します。
有効期限が切れると、パスワード変更の表示がでます。

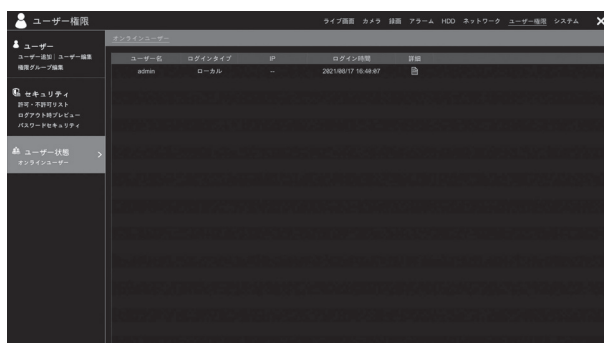
- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



ユーザー状態

オンラインユーザー

ログインしているユーザーを一覧表示します。



一般

一般設定

基本設定を行います。

デバイス名

本機の名前を設定します。

デバイスNo.

本機の番号を設定します。

言語

GUIなどの表示言語を設定します。

映像形式

映像形式を「NTSC」か「PAL」から選択します。
接続するカメラの仕様に合わせて設定してください。

ディスプレイ解像度固定

チェックを入れると、モニターへのメイン出力の解像度を設定できます。

●マウスの右ボタンを10秒間長押ししても変更できません。

ウィザード有効

チェックを入れると、本機が起動したときに「ウィザード設定」を表示します。

自動ログイン

起動時に現在ログインしているユーザーで自動的にログインします。

●「自動ログイン」を有効にすると、セキュリティレベルが低下するため、注意してご使用ください。

自動ログアウト

待機時間を経過すると自動的にログアウトします。

●自動ログアウトは「自動ログイン」が無効の場合に使用できます。

スポット

チェックを入れると、スポット出力を行います。詳細は「出力設定」(p.63)をご覧ください。

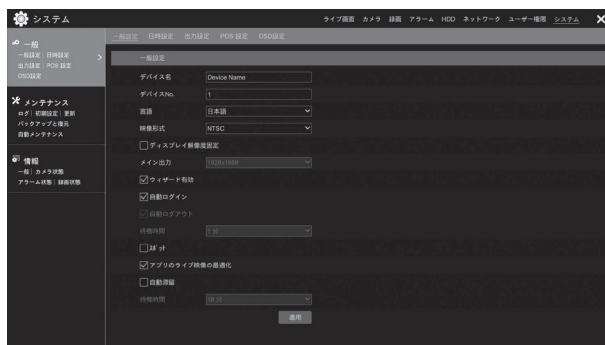
アプリのライブ映像の最適化

スマートフォンアプリに表示する解像度を自動で設定します。

自動滞留

設定した待機時間を経過すると「自動画面切替」の表示方式になります。

●「適用」をクリックすると、設定が完了します。



日時設定

日時の設定を行います。

システム時間

現在の日時を設定します。

- 「同期」で「NTP」を選択した場合、この項目は操作できません。

日付形式

年/月/日の並び順を選択します。

時間形式

24時間表示/12時間表示を切替えます。

同期

同期方式を「NTP」か「手動」を選択します。

NTP：NTPサーバーに同期して、自動で日時設定を行います。

手動：手動で日時設定を行います。

NTPサーバー

NTPサーバーを選択します。

- 「同期」で「手動」を選択した場合、この項目は操作できません。

タイムゾーン

タイムゾーンを選択します。

DST

チェックを入れると、サマータイムを有効にします。

- 「タイムゾーン」でサマータイムを実施していない地域を選択した場合、この項目は操作できません。

- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



出力設定

自動画面切替の出力画面を設定します。

メイン出力ではライブ画面、出力2ではスポット出力での設定を行います。

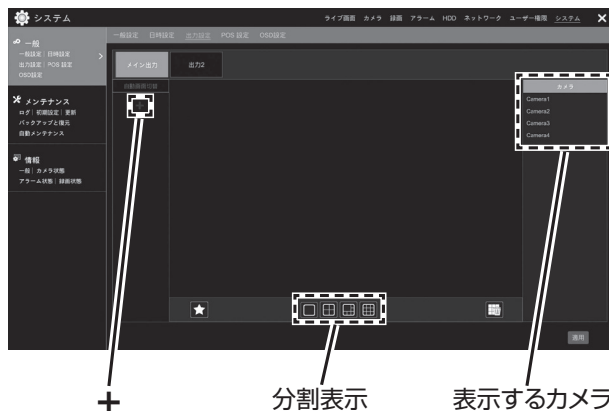
メイン出力

- ①「メイン出力」をクリックします。
- ②「+」をクリックして出力画面を追加します。
- ③出力画面の分割表示を選択します。
- ④表示するカメラを選択します。
- ⑤上記②～④を繰り返して自動画面切替の出力画面を設定します。
 - 「お気に入り」をクリックすると、設定した出力画面をライブ画面の表示モードに追加します。
- ⑥「適用」をクリックして、設定を完了します。

出力2

- ①「出力2」をクリックします。
- ②「+」をクリックして出力画面を追加します。
- ③表示するカメラを選択し、遷移時間を設定します。
 - 画面表示は1画面表示になります。
- ④上記②～③を繰り返して自動画面切替の出力画面を設定します。
- ⑤「適用」をクリックして、設定を完了します。

《メイン出力を設定するときの画面》



POS設定

本機能は使用しません。

OSD設定

カメラ名、および検知アイコンなどのOSD表示をオン、オフします。

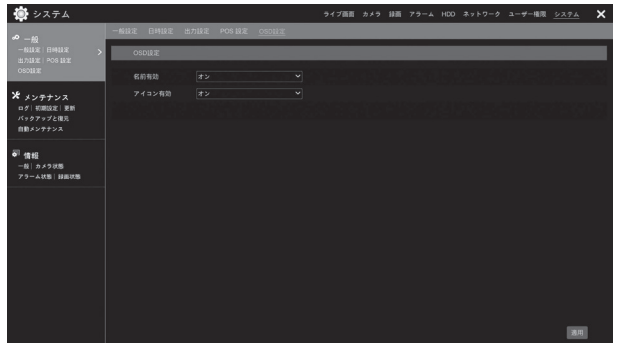
名前有効

カメラ名のOSD表示をオン、オフします。

アイコン表示

検知や録画、PTZのOSD表示をオン、オフします。

- 「名前有効」の設定は、画像設定の「OSD設定」(p.38)よりも優先されます。
- 「適用」をクリックすると、設定が完了します。



メンテナンス

ログ

本機のログを表示します。ログの種類と期間を選択して検索をクリックすると、該当するログを表示します。「出力」をクリックするとストレージにログを出力します。

全て

全てのログを表示します。

アラーム

動体やスマート検知などのアラームのログを表示します。

操作

ログインや再生、バックアップなどの操作のログを表示します。

設定

設定のログを表示します。

異常

異常状態のログを表示します。



初期設定

本機の設定を工場出荷状態に戻します。

- 「ネットワーク構成以外の設定を初期化」を選択して、「実行」をクリックすると、ネットワークの設定を変更せずに、その他の設定を、工場出荷状態に戻します。
- 全て：
ログ(上記)を残して、その他の設定を工場出荷状態に戻します。
工場出荷状態に戻す：
ログ(上記)を含めた全ての設定を工場出荷状態に戻します。



更新

ストレージ経由で本機をアップグレードします。

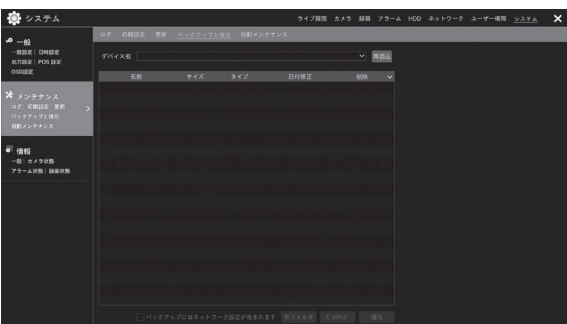
- アップグレードの手順については、ホームページをご覧ください。

バックアップと復元

本機の設定をバックアップしたり復元したりします。

ストレージを接続し、「バックアップ」をクリックすると、設定をバックアップします。

ファイルを選択して「復元」をクリックすると、設定を復元します。



自動メンテナンス

本機を定期的にメンテナンスします。
メンテナンスには本機の再起動を伴います。
再起動中は録画などの全ての機能が停止します。

「有効」にチェックを入れて、
メンテナンスの日付間隔と時間を設定し、
「適用」をクリックすると、設定を完了します。

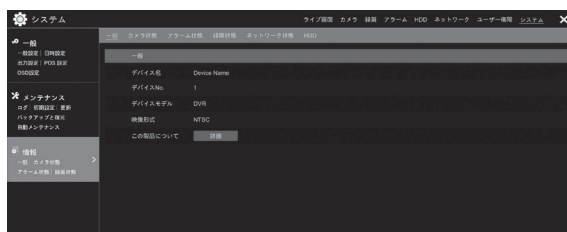


情報

一般

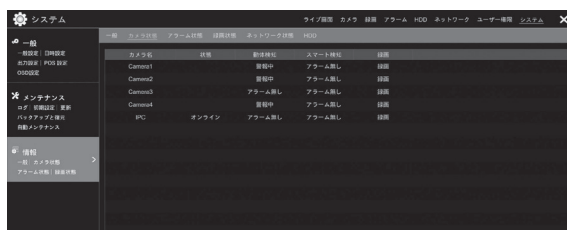
本機の名前やモデルを表示します。

「詳細」をクリックすると、
各種のバージョン情報を表示します。



カメラ状態

カメラの検知や録画の状態を表示します。



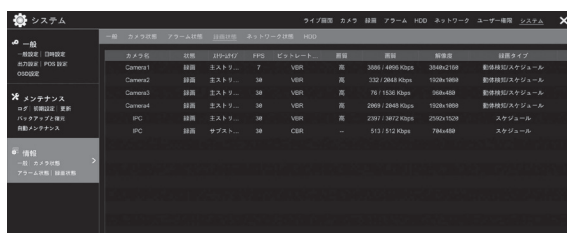
アラーム状態

アラームの状態を表示します。



録画状態

録画の状態を表示します。



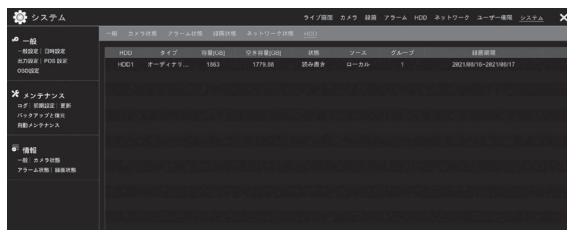
ネットワーク状態

ネットワークの状態を表示します。



HDD

ハードディスクの状態を表示します。



「録画バックアップ画面」(p.33)で、ストレージにバックアップした録画ファイル(ファイル形式：専用ビューアー用)を、専用ビューアー「RPAS」で再生することができます。

専用ビューアーの取得方法

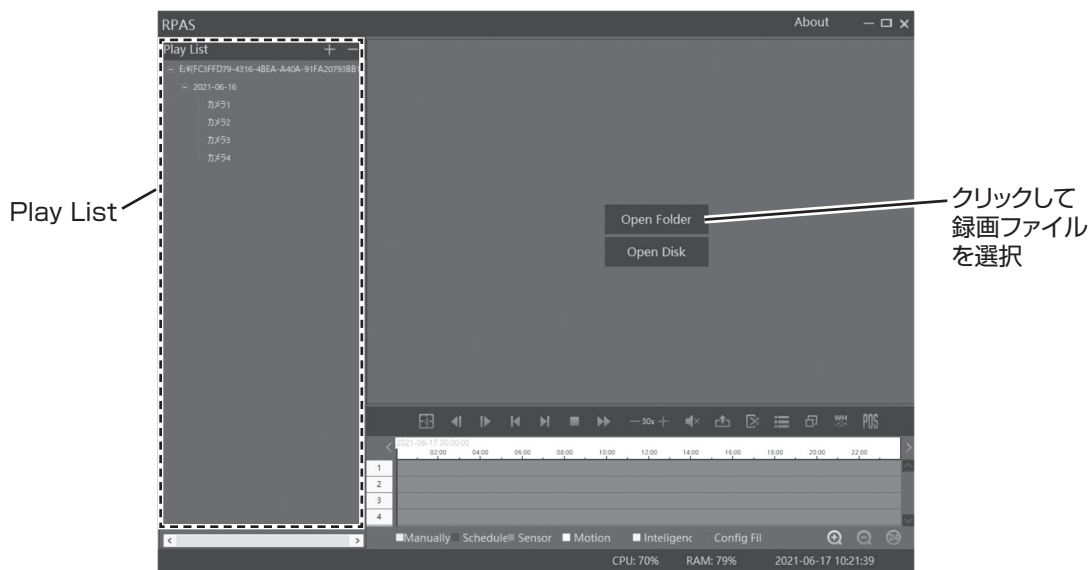
- ① 本機でバックアップすると、バックアップをした録画ファイルと一緒に「RPAS.zip」というファイルが作成されます。
- ② 作成されたzipファイルを解凍します。
- ③ 「Play_from_USB」のファイルをクリックします。
- ④ 「RPASPlayer32.exe」が専用ビューアーになります。

専用ビューアーで録画ファイルを再生する

- ① 「RPASPlayer32.exe」をクリックして、専用ビューアーを起動します。



- ② 「Open Folder」をクリックして、再生したい録画ファイルを選択します。
 - 「Play List」に選択した録画ファイルが表示されます。

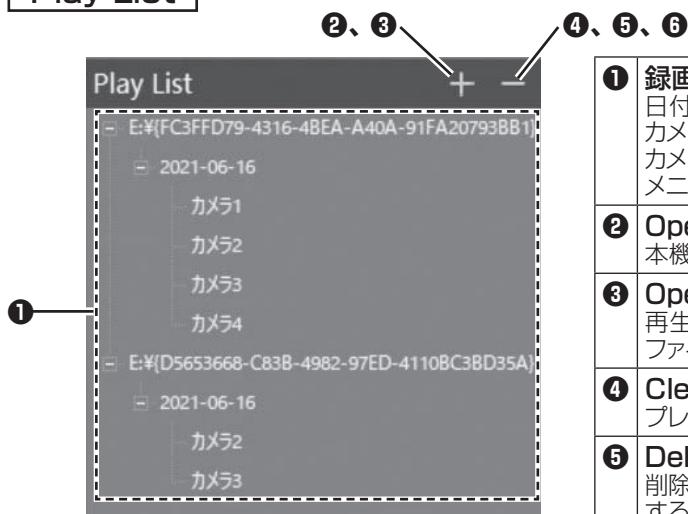


メインメニュー



- | | |
|---------------------------|---|
| ① Play List (p.68) | 専用ビューアーで展開している録画ファイルの一覧を表示します。 |
| ② カメラ映像 (p.69) | 設定されているカメラ映像を表示します。カメラ映像をダブルクリックすると、全画面表示になります。 |
| ③ ツールバー (p.69) | 再生映像の表示の変更や、録画データの再生、停止などの操作を行います。 |
| ④ シークバー | < > + - ②④で時間軸の移動、切換えをします。^ \でシークバーを表示するカメラを切換ええます。 |

Play List



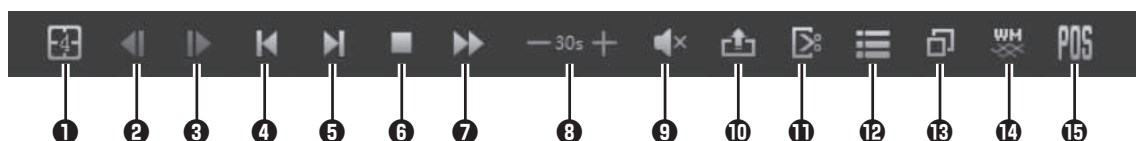
- | | |
|--------------------------------|---|
| ① 録画ファイル | 日付をダブルクリックすると、選択した日付の全てのカメラがメインメニューに表示されます。カメラをダブルクリックすると、選択したカメラがメインメニューに表示されます。 |
| ② Open Disk | 本機能は使用しません。 |
| ③ Open Folder | 再生したい録画ファイルを選択します。選択した録画ファイルはプレイリスト一覧に表示されます。 |
| ④ Clear all items | プレイリストの全ての録画ファイルを削除します。 |
| ⑤ Delete selected items | 削除したい録画ファイルのファイル名を選択してクリックすると、選択した録画ファイルが削除されます。 |
| ⑥ Delete invalid items | プレイリストと不整合の起こったファイルを削除します。 |

カメラ映像



- | | |
|---|--|
| ① | 再生映像
カメラの録画データが再生されます。 |
| ② | 音声出力(Open Audio)
音声の出力を有効/無効にします。 |
| ③ | 静止画撮影(Manually Snap)
静止画を撮影します。「Browse」をクリックして、保存先を選択します。 |
| ④ | ズームイン(Zoom In)
映像を拡大表示します。 |
| ⑤ | ズームアウト
映像を縮小表示します。 |
| ⑥ | Full Screen/Exit Full Screen
現在の分割数で、カメラ映像が全画面表示になります。
もう一度クリックすると、全画面表示が終了します。 |

ツールバー



- | | | | |
|---|--|---|---|
| ① | 分割表示
カメラ映像を分割して表示します。1画面、4画面、9画面、16画面から選択します。 | ⑨ | 音量調節
クリックすると、音量調節バーが表示されます。 |
| ② | 前フレーム
録画データを1フレームずつ逆再生します。
コマ送り逆再生は、録画データが1画面表示で一時停止中にのみ使用できます。 | ⑩ | エクスポート
時間、カメラ、録画モードから録画データを検索して、AVIファイルを作成、保存することができます。 |
| ③ | 次フレーム
録画データを1フレームずつ再生します。
コマ送り再生は、録画データが1画面表示で一時停止中にのみ使用できます。 | ⑪ | Start Time/Stop Time
AVIファイルを作成したい部分をシークバーから選択して、保存します。 |
| ④ | 逆再生/一時停止
■をクリックすると逆再生を一時停止します。
▶をクリックすると逆再生を再開します。 | ⑫ | イベントリスト
イベントから録画データを検索することができます。 |
| ⑤ | 再生/一時停止
■をクリックすると再生を一時停止します。
▶をクリックすると再生を再開します。 | ⑬ | フルスクリーン
カメラ映像が全画面表示になります。
カメラ映像を右クリックして「Exit Full Screen」を選択すると、全画面表示が終了します。 |
| ⑥ | 停止
再生を停止します。 | ⑭ | 詳細
本機で透かし文字を設定していたとき、設定した文字列を表示します。 |
| ⑦ | 加速/減速
再生速度の加速または減速を選択します。 | ⑮ | POS表示
本機能は使用しません。 |
| ⑧ | 30秒スキップ
-をクリックすると、録画データが30秒戻ります。
+をクリックすると、録画データが30秒進みます。 | | |

本機をネットワークに接続することで、スマートフォン・タブレットからカメラ映像の確認や録画データの再生などを行うことができます。

基本的な操作は、本機の操作方法を参照してください。

設定の前に

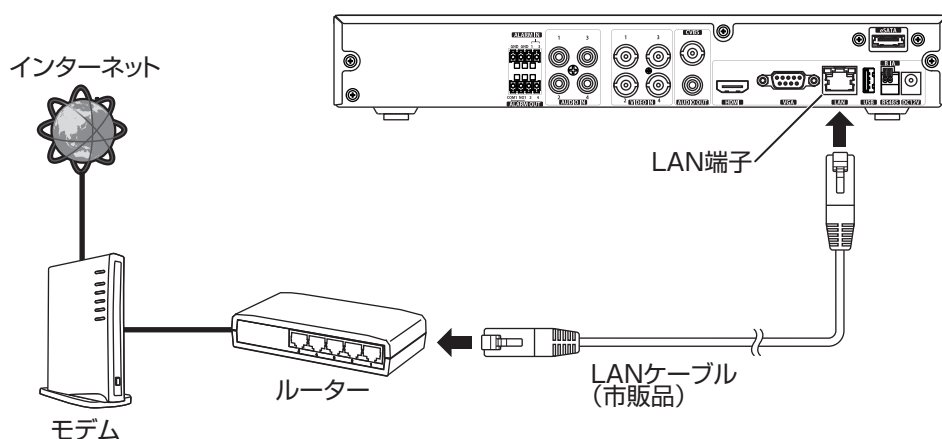
この機能を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

1.インターネット回線に接続する

本機背面のLAN端子とルーターをLANケーブルで接続します。

●無線LANでの接続はできません。

接続例 接続する環境により、接続方法は異なります。



2.専用アプリをインストールする

下記のURLまたはQRコードから専用アプリ「SuperLivePlus」(無料)をスマートフォンなどにインストールします。

- インストールが完了すると、アイコンがホーム画面に作成されます。
- AndroidとiOSで、アプリの表示内容が若干異なります。

Androidの場合

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.tv.superliveplus&hl=ja&gl=US>



iPhone/iPadの場合

<https://apps.apple.com/jp/app/superlive-plus/id1058758642>



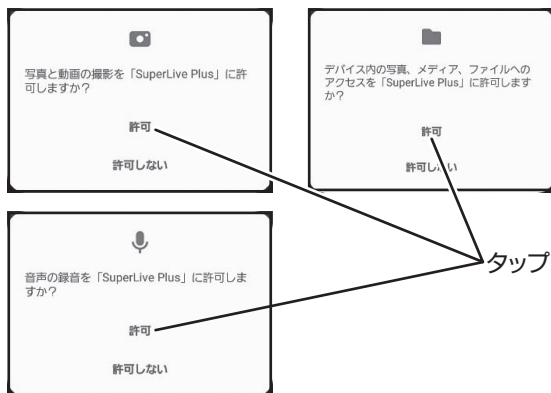
3.QRコードからレコーダーの追加をする

- スマートフォンのバージョンにより表示される画面が異なる場合があります。
- 以下はAndroid端末の画面です。

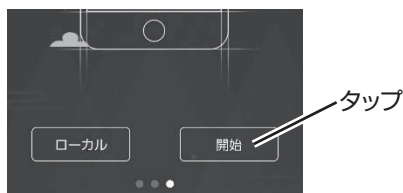
①「SuperLivePlus」アプリのアイコンをタップします。



②「写真と動画の撮影」、「デバイス内の写真、メディア、ファイルへのアクセス」、「音声の録音」を許可します。



③右にスクロールして、「開始」をタップします。



④「プライバシーに関する声明」の「同意する」をタップします。



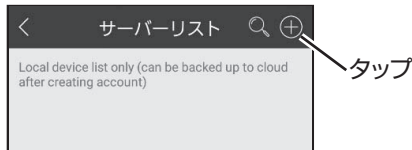
⑤「デバイスにログイン」で「スキップ」をタップします。



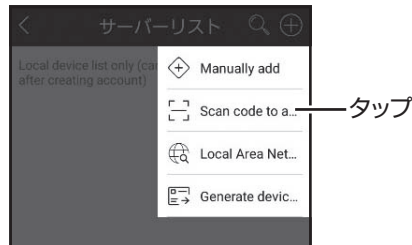
⑥ (サーバーリスト) をタップします。



⑦ + をタップします。



⑧「スキャンコードで追加」をタップします。

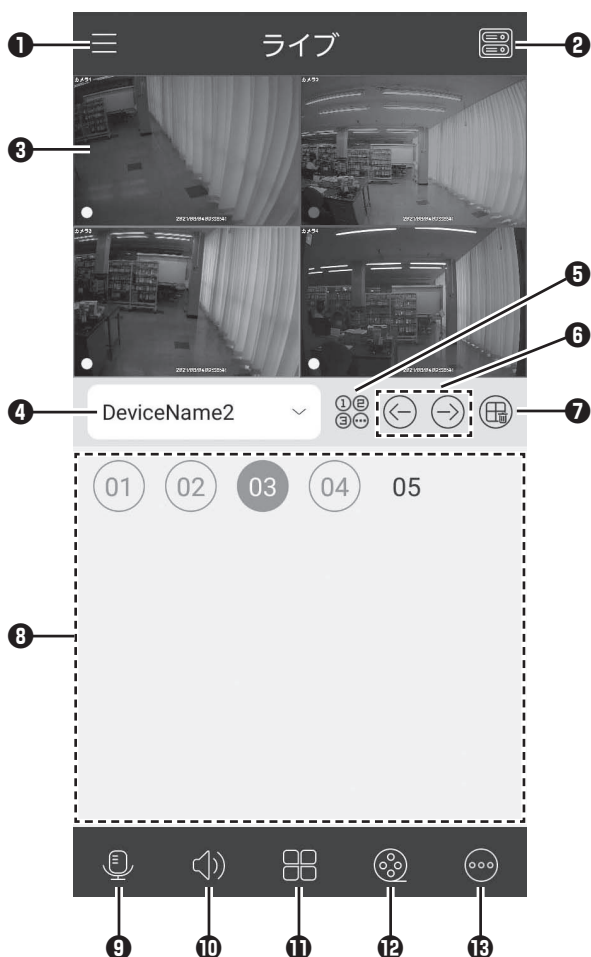


⑨レコーダーの「NAT」(p.54)にあるQRコードを読み取ります。
(表示方法:「メインメニュー」→「設定」→「アラーム」)
→「ネットワーク」→「NAT」)

⑩デバイス名、ユーザー名、パスワードを入力して、「保存」をタップします。



⑪「ライブ画面」(p.72)に「カメラ映像」が表示されれば、完了です。



①	メニュー (p.76) レコーダーの設定や通知の設定などが行えます。
②	「サーバーリスト」(p.79) 現在登録されているレコーダーの一覧を表示します。 また、新しくレコーダーを追加することができます。
③	カメラ映像 (p.73) 選択されているカメラ映像を表示します。「カメラ映像」をダブルタップすると、全画面表示になります。 ドラッグアンドドロップで、カメラ映像の位置を入れ替えたり、再生対象から外したりします。
④	デバイスリスト 登録されているレコーダー一覧を表示します。 表示したいレコーダーの再生アイコンをタップすると、「ライブ画面」に、選択したレコーダーのカメラが表示されます。 +をタップすると、新しくレコーダーを登録することができます。
⑤	チャンネル表示モード カメラ名の表示形式を切替えます。
⑥	チャンネル切換え 「ライブ画面」に表示するカメラを切替えます。
⑦	全てのチャンネルを閉じる 再生を終了し、カメラのライブ映像を再生対象から外します。
⑧	カメラ名 現在表示できるカメラの一覧を表示します。
⑨	通話機能 レコーダーに接続しているスピーカーから音声が出力されます。 レコーダー側にマイクはないため、双方向にはなりません。
⑩	音声有効/無効 選択しているカメラの音声の有効/無効を切替えます。
⑪	分割選択 カメラ映像を分割して表示します。1画面、4画面、9画面などから選択します。
⑫	リモート再生 (p.74) レコーダーの録画データを再生します。
⑬	設定 (p.75) お気に入り設定や、プッシュ通知設定などを行います。

カメラ映像



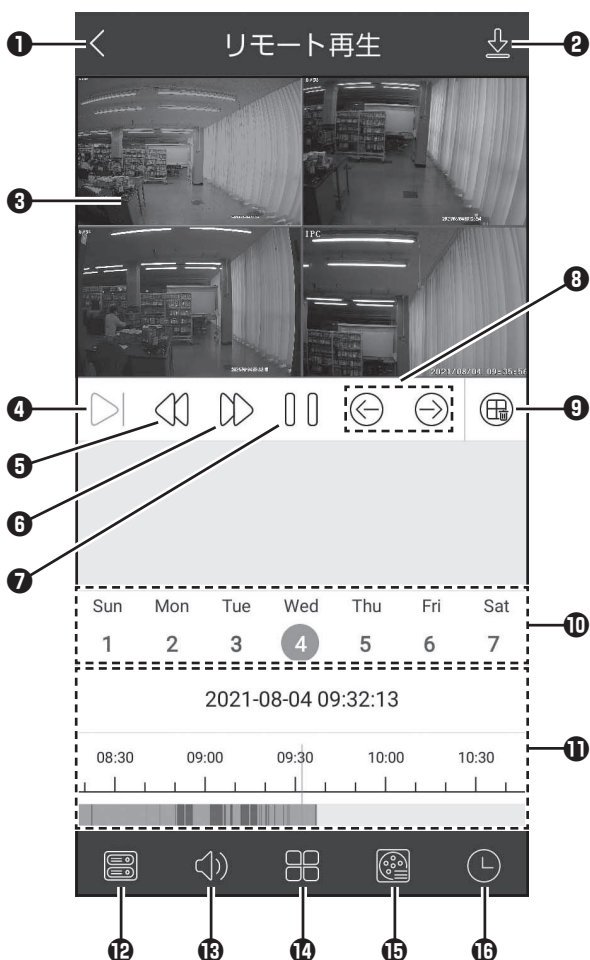
① フィッシュアイ 360°カメラなどを選択したときに、専用の表示画面が表示されます。	⑦ 全画面表示 現在の分割表示で全画面表示になります。 アイコンをタップすると、全画面表示が終了します。
② 解像度 解像度を選択します。 スーパー解像度ではカメラで設定した解像度で再生されます。 カスタムはFPS、ビットレートを選択することができます。 ●「一般設定」(p.62)の「アプリのライブ映像の最適化」が有効なときは表示されません。	⑧ 静止画撮影 選択しているカメラの静止画を撮影します。 撮影した静止画は「ファイル」に保存されます。
③ レンズ調整 カメラ映像の明るさやコントラストなどを調整します。	⑨ 手動録画 手動録画を開始/停止します。 録画データは「ファイル」に保存されます。
④ PTZ PTZ制御画面を表示します。	⑩ 機能アイコン 音声有効時、マイク有効時、手動録画中のときなどにアイコンを表示します。
⑤ マイク カメラ映像下に表示されるマイクアイコンを長押しして、選択したカメラに話しかけることができます。	⑪ 録画アイコン レコーダー本体が録画中のときに録画アイコンを表示します。検知録画、常時録画、手動録画など録画の種類に応じてアイコンの色が変わります。
⑥ 手動アラーム 本機能は使用しません。	

明るさ調整・音量調整

カメラ映像が一画面表示のときに、カメラ映像の左側を長押ししながら上下にスワイプすると、画面の明るさ調整ができます。

カメラ映像の右側を長押ししながら上下にスワイプすると音量の調整ができます。

「ライブ画面」(p.72)で「リモート再生」をタップすると表示します。



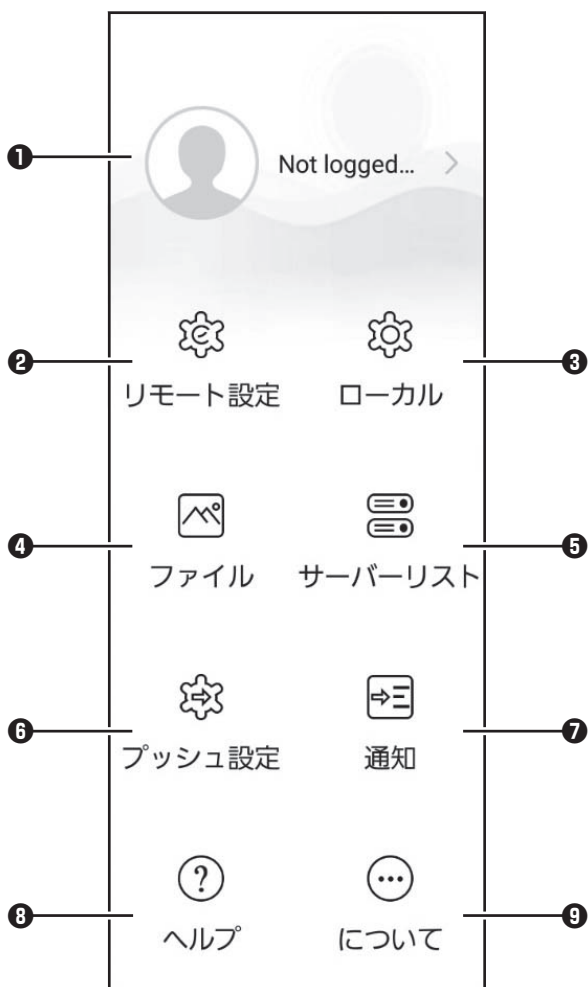
①	ライブ画面に戻る 「ライブ画面」(p.72)に戻ります。
②	ダウンロード 日付、時間帯を選択して、録画データをダウンロードします。
③	カメラ映像 選択されているカメラ映像を表示します。「カメラ映像」をダブルタップすると、全画面表示になります。ドラッグアンドドロップで、カメラ映像の位置を入れ替えたり、再生対象から外したりします。
④	コマ送り再生 録画データを1フレームずつ再生します。コマ送り再生は、録画データが一時停止中にのみ使用できます。
⑤	巻き戻し 録画データを逆再生します。
⑥	早送り 再生速度を加速します。
⑦	再生/一時停止 タップすると再生を一時停止します。もう一度タップすると再生を再開します。
⑧	カメラ切換え 再生画面に表示するカメラを切換えます。
⑨	全てのチャンネルを閉じる 再生を終了し、カメラの再生映像を再生対象から外します。
⑩	日時選択 再生する日付を選択します。
⑪	シークバー 再生を開始する時間を指定します。「録画モード選択」で録画方式を選択することで、録画データをフィルターして表示できます。
⑫	デバイスリスト 現在登録されているレコーダーの一覧を表示します。再生されているカメラはオレンジの丸、録画データのあるカメラは赤字で表示されています。
⑬	音声有効/無効 選択しているカメラの音声の有効/無効を切換えます。
⑭	分割選択 カメラ映像を分割して表示します。1画面、4画面、9画面、16画面から選択します。
⑮	録画モード選択 録画方式を選択して、録画データをフィルターします。
⑯	日付選択 再生する日時を選択します。

「ライブ画面」(p.72)で「設定」をタップすると表示します。



①	プッシュ通知 有効なとき、音と振動で通知して、ポップアップが表示されます。 無効なとき、「通知画面」でのみ通知されます。
②	お気に入りを追加 +をタップすると、現在の分割表示でグループに登録されます。 再生アイコンをタップすると、選択したグループの分割表示でライブ画面に表示されます。
③	手動アラーム 本機能は使用しません。

「ライブ画面」(p.72)で「メニュー」をタップすると表示します。



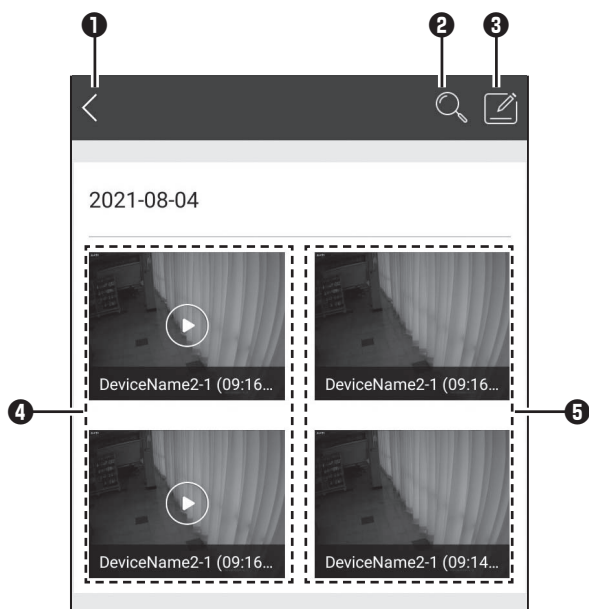
①	ユーザー 本機能は使用しません。
②	リモート設定 レコーダーの設定を遠隔で行います。 設定方法は本機の設定方法を参照してください。
③	ローカル(p.77) カメラ映像の表示や保存の設定などを行います。
④	ファイル(p.78) 撮影した静止画や録画データの閲覧、保存などを行います。
⑤	サーバーリスト(p.79) 現在登録されているレコーダーの一覧を表示します。 また、新しくレコーダーを追加することができます。
⑥	プッシュ設定 (p.80) レコーダーごとにプッシュ通知の設定を行います。
⑦	通知 (p.81) レコーダーからの通知を一覧で表示します。
⑧	ヘルプ 本アプリの簡易的な操作説明が記載されています。
⑨	本アプリについて 本アプリについての情報が記載されています。

ローカル

	ローカル	
①	① 警の前に（秒）再生時間 10 >	
②	② プロンプト通知 音と振動 >	
③	③ 予備のディスクスペース（MB） 50 >	
④	④ リサイクル録画 ☐	
⑤	⑤ スナップ数 1 >	
⑥	⑥ スナップを分割 ☐	
⑦	⑦ お気に入り >	
⑧	⑧ 起動設定 最後のプレビューチャンネルを再生 >	
⑨	⑨ ジェスチャーパスワードを設定 終了しました >	
⑩	⑩ 画面回転補正 ☐	
⑪	⑪ OSD ☐	
⑫	⑫ Original Scale Display Video ☐	
⑬	⑬ PTZ方向反転制御 ☐	
⑭	⑭ PTZジェスチャー操作プロンプト ☐	
⑮	⑮ 自動接続 ☐	
⑯	⑯ 横向きモード ☐	

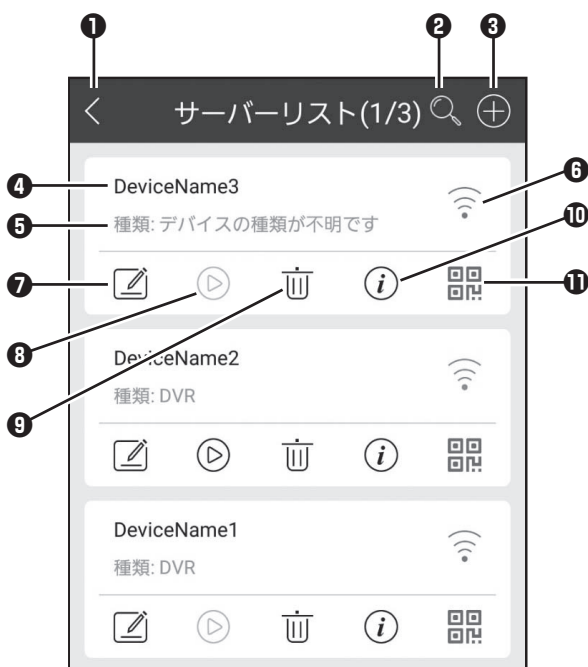
①	検知前再生時間（秒） プッシュ通知からリモート再生を行う場合、通知した時間の何秒前から再生するのか設定します。
②	プッシュ通知 有効なとき、音と振動で通知して、ポップアップが表示されます。 無効なとき、「通知画面」でのみ通知されます。
③	予備のディスク容量(MB) このアプリの使用上限サイズを設定します。
④	リサイクル録画 使用上限サイズを超えると、上書き録画します。
⑤	スナップ数 一度に撮影する静止画の枚数を選択します。
⑥	スナップを分割 表示中のカメラ映像のスナップショットを1枚ずつ撮影します。 無効なとき、選択しているカメラ映像のスナップショットを「スナップ数」で設定した枚数分撮影します。
⑦	お気に入り 「お気に入りを追加」(p.75)で登録したグループを編集できます。
⑧	起動設定 起動したときに表示する画面を設定します。
⑨	ジェスチャーパスワードを設定 パターンロックを設定します。 設定すると、アプリを開いたときに要求されます。
⑩	画面回転補正 縦画面、横画面を反転します。
⑪	OSD OSDの有効/無効を切替えます。
⑫	オリジナルサイズ表示 カメラ映像の縦横比で表示します。
⑬	PTZ方向反転制御 パン、チルトの制御を反転します。
⑭	PTZジェスチャー操作プロンプト PTZ操作のアイコンが表示されます。
⑮	自動接続 自動でオンラインのレコーダーをライブ画面で再生します。 自動接続がオフの場合、「サーバーリスト」から、自分で再生するレコーダーを選択します。
⑯	横向きモード アプリを横向きで表示します。 横向きモードのとき、一部設定が表示されません。

ファイル



①	ライブ画面に戻る 「ライブ画面」(p.72)に戻ります。
②	検索 日時、デバイス名などから録画映像、静止画を検索することができます。
③	削除 選択した録画映像、静止画を削除します。
④	録画映像 録画した映像が表示されます。
⑤	静止画 撮影した静止画が表示されます。

サーバーリスト



①	ライブ画面に戻る 「ライブ画面」(p.72)に戻ります。
②	検索 デバイス名、シリアルナンバーなどから検索することができます。
③	デバイスの追加 追加方法を選択して、レコーダーの追加を行います。詳細は下記をご覧ください。
④	デバイス名
⑤	デバイスの種類 レコーダーの種類を表示します。
⑥	接続ステータス レコーダーの接続状況を色で表示します。
⑦	デバイスの編集 デバイス名やデバイスのアカウントを編集します。
⑧	プレビュー設備 選択したレコーダーを「ライブ画面」で再生します。
⑨	デバイスを削除 選択したデバイスを削除します。デバイスを削除すると、「ファイル」から関連する録画データや静止画も削除されます。
⑩	デバイス情報 デバイス情報を表示します。
⑪	QRコードを表示する 選択したデバイスのQRコードを表示します。

デバイスの追加

⑫	Manually add
⑬	Scan code to add
⑭	Local Area Network Search
⑮	Generate device business cards

⑫	手動で追加 シリアルナンバー、IPアドレスなどを手動で入力して、レコーダーを追加します。
⑬	スキャンコードで追加 QRコードを読み込んで、レコーダーを追加します。
⑭	ローカルエリアネットワーク検索 ネットワークからレコーダーを検索して、レコーダーを追加します。
⑮	デバイスカード生成 デバイスを選択すると、パスワードを設定してQRコードを作成することができます。 別の端末で、作成したQRコードから登録するとき、設定したパスワードが必要となります。

プッシュ設定



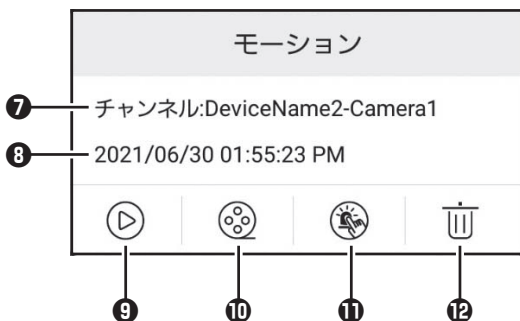
①	ライブ画面に戻る 「ライブ画面」(p.72)に戻ります。
②	保存 タップすると、設定を保存します。
③	デバイス通知機能 選択したレコーダーの通知メッセージを有効にします。 この設定は他の端末にも反映されます。 通知メッセージを受けるには、「購読お知らせ」とレコーダー側の通知メッセージの設定も有効である必要があります。
④	プッシュ通知 端末ごとに通知メッセージの有効/無効を選択します。
⑤	プッシュ通知トリガ 通知メッセージをタップしてアプリを開いたときに、表示する画面を選択します。
⑥	スマートアラーム 検知の種類、カメラごとに通知メッセージを有効にするか選択します。
⑦	基本アラーム それぞれの作動に対して通知メッセージを有効にするか選択します。

通知



①	ライブ画面に戻る 「ライブ画面」(p.72)に戻ります。
②	アラームメッセージ アラーム一覧を表示します。
③	システム情報 本機能は使用しません。
④	アラーム一覧 アラームの一覧を表示します。 表示されたアラームをタップすると、詳細(下記)が表示されます。
⑤	削除 アラームを一括削除します。
⑥	既読 アラームを一括で既読にします。

詳細



⑦	チャンネル アラームを発報したデバイス名、カメラ名を表示します。
⑧	日時 アラームを発報した日時を表示します。
⑨	ライブ画面 アラームを発報したレコーダー、カメラのライブ画面を表示します。
⑩	リモート再生 アラームを発報したレコーダー、カメラ、日時のリモート再生画面に遷移します。 録画データがある場合、録画データを再生します。
⑪	手動アラーム 本機能は使用しません。
⑫	削除 選択したアラームを削除します。

本機をネットワークに接続することで、Webブラウザからカメラ映像の確認や録画データの再生などを行うことができます。

基本的な操作は、本機の操作方法を参照してください。

●使用するブラウザによって、表示内容が若干異なります。

はじめに

この機能を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

接続方法は「1.インターネット回線に接続する」(p.70)をご覧ください。

Webブラウザからログインする

サポートしているブラウザは下記になります。

Windows : Internet Explorer、Microsoft Edge、Google Chrome、Safari

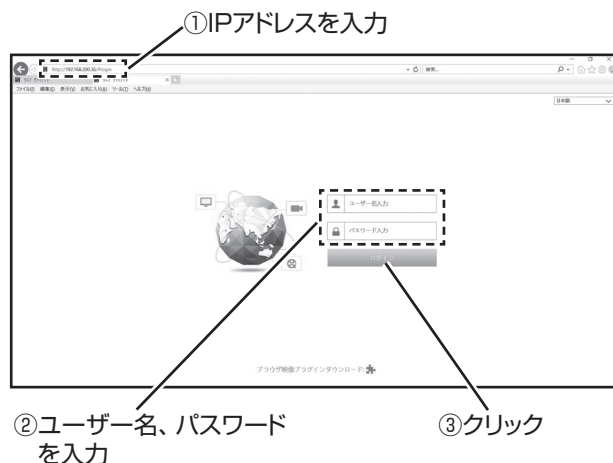
●最新の情報はホームページをご覧ください。

●以下はInternet Explorerの画面です。

①Webブラウザに本機のIPアドレスを入力します。

②本機のユーザー名とパスワードを入力します。

③「ログイン」をクリックします。



初めて起動する場合

初めてWebブラウザからログインしたとき、WEB CLIENT用のプラグインをインストールする必要がある場合は、下記の手順を進めてください。

①Webブラウザからログインします。

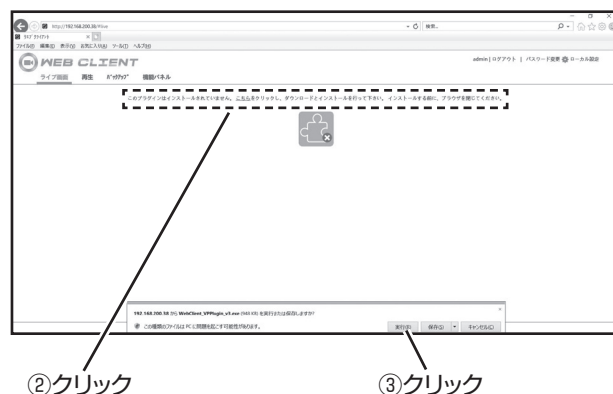
②「こちら」をクリックします。

③「実行」をクリックします。

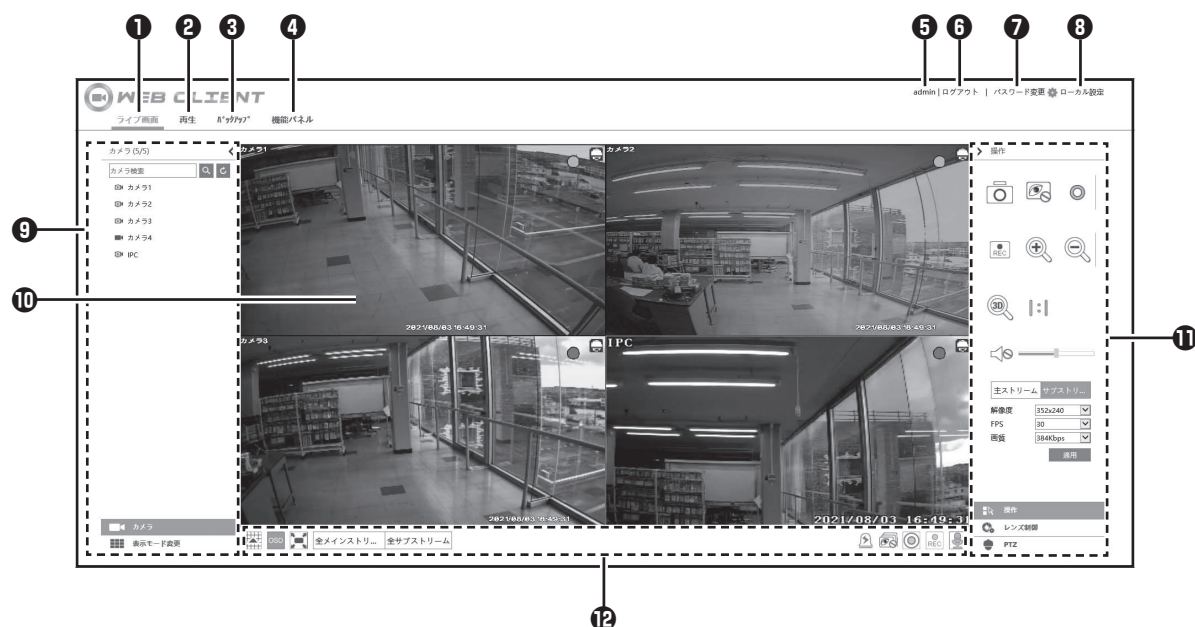
●「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」という表示が出た場合、「はい」をクリックします。

④Webブラウザを再起動して、再度ログインします。

⑤カメラ映像が確認できれば、完了です。

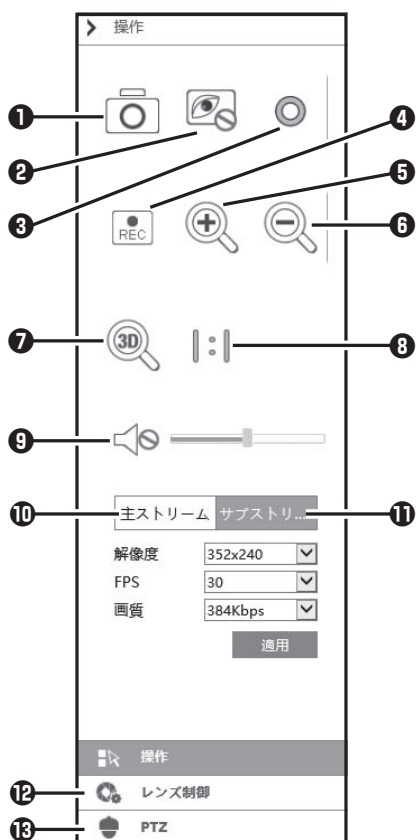


●このプラグインはログイン画面下の「ブラウザ映像プラグインダウンロード」からもインストールすることができます。



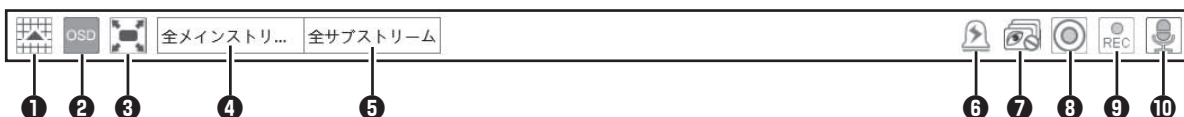
①	ライブ画面 カメラ映像をリアルタイムで確認します。
②	再生 (p.85) 録画データを確認します。
③	バックアップ (p.86) 時間や録画モードから録画データを検索して、バックアップをとります。
④	機能パネル レコーダーの設定を遠隔で行います。 設定方法は本機の設定方法を参照してください。
⑤	ユーザー名 現在ログインしているユーザー名を表示します。
⑥	ログアウト 現在ログインしているユーザーからログアウトします。
⑦	パスワード変更 現在ログインしているユーザーのパスワードを変更します。
⑧	ローカル設定 (p.86) 録画データやスナップショットをパソコンに保存するときの保存先を設定します。
⑨	カメラ一覧 登録されているカメラの一覧を表示します。 「表示モード変更」をクリックすると、表示モードの選択が行えます。 ◀でカメラ一覧を閉じることができます。 🔍でカメラの検索を行うことができます。 🔄でカメラの更新を行うことができます。
⑩	カメラ映像 設定されているカメラ映像を表示します。 カメラ映像をダブルクリックすると、全画面表示になります。 ドラッグアンドドロップでカメラ映像の位置を入れ換えることができます。 録画中に録画アイコンを表示します。
⑪	操作パネル (p.84) カメラごとにカメラの表示方法や録画などの操作が行えます。
⑫	ツールバー (p.84) カメラ映像の表示方法や録画などの操作が行えます。

操作パネル

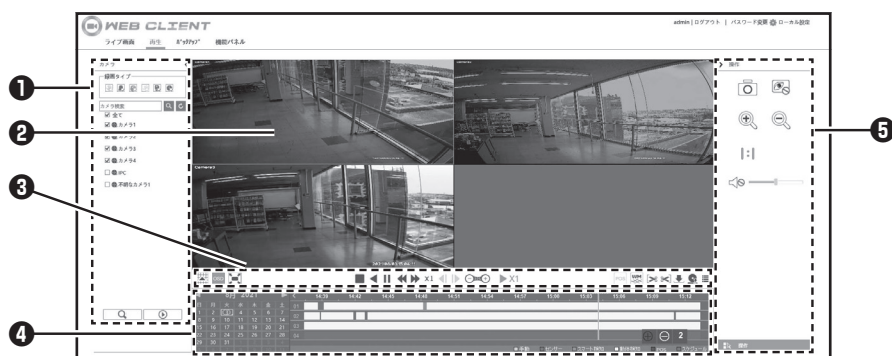


- 1 静止画撮影**
静止画を撮影します。
「ローカル設定」で設定した保存先に保存されます。
- 2 画像表示終了**
再生を終了し、カメラのライブ映像を再生対象から外します。
- 3 コンピューターに記録する**
手動録画を開始/停止します。
この録画データは、パソコンに保存されます。
- 4 リモート手動録画**
レコーダーの手動録画を遠隔で開始/停止します。
この録画データはレコーダーに保存されます。
- 5 ズームイン**
映像を拡大表示します。
- 6 ズームアウト**
映像を縮小表示します。
- 7 3Dズームイン**
マウスの左を長押しでズームイン、右を長押しでズームアウトします。
この機能は対応するカメラを選択しているときに表示します。
- 8 元の比率**
カメラ映像の縦横比で表示します。
- 9 音声有効**
音声の出力を有効/無効にします。
音声が有効なとき、バーで音量の調節ができます。
- 10 メインストリーム**
メインストリームの画質設定でカメラ映像を表示します。
- 11 サブストリーム**
サブストリームの画質設定でカメラ映像を表示します。
操作パネルから解像度、FPS、ビットレートを変更できます。
- 12 レンズ制御**
電子式ズームレンズを搭載したカメラについては、画角や焦点などを調整します。
- 13 PTZ**
PTZを操作する、またはプリセット、クルーズの登録を行います。

ツールバー



- 1 分割表示**
カメラ映像を分割して表示します。1画面、4画面、8画面、9画面から選択します。
- 2 OSD有効/無効**
OSDの有効/無効を切換えます。
- 3 全画面表示**
カメラ映像が全画面表示になります。
カメラ映像を右クリックすると、全画面表示が終了します。
- 4 全メインストリーム**
全カメラ映像をメインストリームの画質設定で表示します。
- 5 全サブストリーム**
全カメラ映像をサブストリームの画質設定で表示します。
- 6 手動アラーム**
本機能は使用しません。
- 7 全画像表示終了**
全カメラの再生を終了し、カメラのライブ映像を再生対象から外します。
再度カメラ映像を再生する場合、カメラ一覧から再生したいカメラを選択します。
- 8 全カメラのPC録画開始**
全カメラの手動録画を開始/停止します。
この録画データはパソコンに保存されます。
- 9 全カメラリモート手動録画開始**
レコーダーの手動録画を遠隔で開始/停止します。
この録画データはレコーダーに保存されます。
- 10 会話開始**
本機能は使用しません。



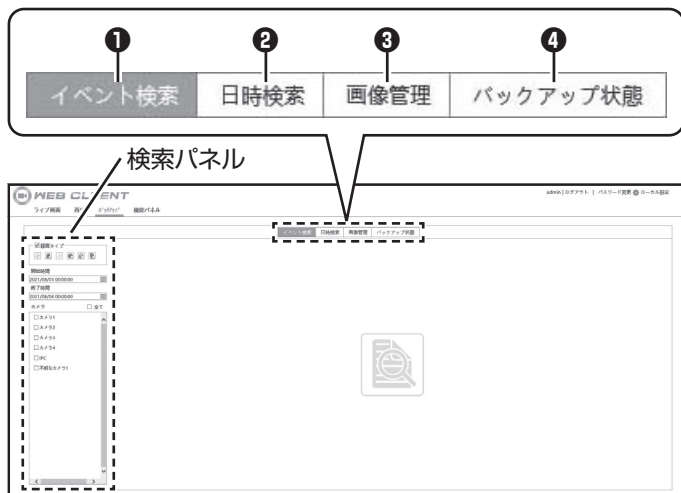
- | | |
|---|---|
| <p>① 検索パネル
録画タイプとカメラから録画データを検索します。
🔍 をクリックすると、選択した日付・カメラの録画データを検索します。
📅 をクリックすると、選択した日付・カメラの録画データが存在する時間から再生を開始します。</p> <p>② カメラ映像
設定されているカメラ映像を表示します。カメラ映像をダブルクリックすると、全画面表示になります。</p> <p>③ ツールバー
再生映像の表示の変更や、録画データの再生、停止などの操作を行います。</p> | <p>④ シークバー
再生を開始する日時を指定します。
カレンダーの青丸になっている日付は録画データが存在する日です。
< > ⊕ ⊖ 2で時間軸の移動、切換えをします。
∧ ∨でシークバーを表示するカメラを切換えします。</p> <p>⑤ 操作パネル
カメラごとにカメラの表示や静止画撮影などの操作が行えます。
操作方法は「操作パネル」(p.84)を参照してください。</p> |
|---|---|

ツールバー



- | | |
|--|--|
| <p>① 分割表示
カメラ映像を分割して表示します。1画面、4画面、から選択します。</p> <p>② OSD有効/無効
OSDの有効/無効を切換えします。</p> <p>③ 全画面表示
カメラ映像が全画面表示になります。
カメラ映像を右クリックすると、全画面表示が終了します。</p> <p>④ 停止
再生を停止します。</p> <p>⑤ 逆再生
録画データを逆再生します。</p> <p>⑥ 再生/一時停止
クリックすると再生を一時停止します。もう一度クリックすると再生を再開します。</p> <p>⑦ 減速
再生速度を減速します。5段階の速度から選択できます。
元の速度に戻す場合は、「元の速度に戻す」をクリックします。</p> <p>⑧ 加速
再生速度を加速します。
元の速度に戻す場合は、「元の速度に戻す」をクリックします。</p> <p>⑨ 元の速度に戻す
再生速度を元の速度(1倍速)に戻します。</p> <p>⑩ 前フレーム
録画データを1フレームずつ逆再生します。
コマ送り逆再生は録画データが「分割表示」の1画面表示で一時停止中にのみ使用できます。</p> | <p>⑪ 次フレーム
録画データを1フレームずつ再生します。
コマ送り再生は録画データが「分割表示」の1画面表示で一時停止中にのみ使用できます。</p> <p>⑫ 30秒スキップ
- をクリックすると、録画データが30秒戻ります。
+ をクリックすると、録画データが30秒進みます。</p> <p>⑬ 再生状態
現在の再生状態を表示します。</p> <p>⑭ POS表示
本機能は使用しません。</p> <p>⑮ 詳細
本機で透かし文字を設定していたとき、設定した文字列を表示します。</p> <p>⑯ バックアップ開始時間
バックアップを開始する時間をシークバーから選択します。</p> <p>⑰ バックアップ終了時間
バックアップを終了する時間をシークバーから選択します。</p> <p>⑱ バックアップ
選択した時間・カメラのバックアップを、AVI形式でパソコンに保存することができます。</p> <p>⑲ タスク
バックアップ状況を表示します。</p> <p>⑳ イベントリスト
選択しているカメラのイベントの履歴を表示します。</p> |
|--|--|

バックアップ



- ① **イベント検索**
録画タイプとカメラから録画データを検索して、再生、バックアップを保存します。
- ② **日時検索**
選択した日時・カメラのバックアップを保存します。
- ③ **画像管理**
撮影された静止画の一覧を表示します。「出力」から静止画データを保存することができます。
- ④ **バックアップ状態**
バックアップ状況を表示します。

- ① 「検索パネル」から検索する項目を選び、 をクリックします。
● 検索結果が表示されます。
- ② バックアップするデータにチェックを入れて、「バックアップ」をクリックします。
● 「バックアップ画面」が表示されます。
- ③ 保存先を指定して「OK」をクリックすると、バックアップを開始します。

バックアップ画面

バックアップ

ターゲット

遠隔装置

デバイス名

フォーマット

AVI

OK

中止

- ⑤ **ターゲット**
ローカル：パソコンに保存します。
遠隔装置：レコーダーに接続されたストレージに保存します。
- ⑥ **デバイス名**
バックアップの保存先を選択します。
- ⑦ **フォーマット**
AVI形式で保存します

ローカル設定

① 静止画録画数

5

② 静止画録画保存先

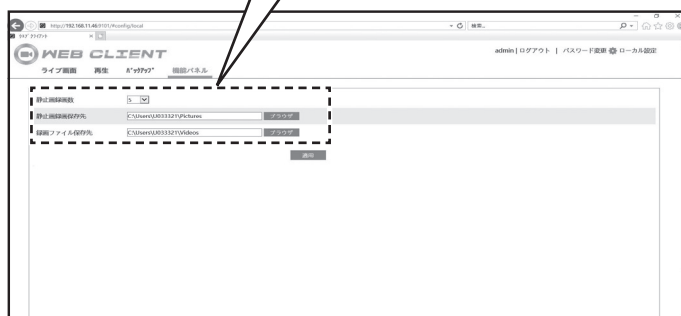
C:\Users\U033321\Pictures

ブラウザー

③ 録画ファイル保存先

C:\Users\U033321\Videos

ブラウザー



- ① **静止画録画数**
一度に撮影する静止画の枚数を設定します。
- ② **静止画録画保存先**
スナップショットの保存先を設定します。
- ③ **録画ファイル保存先**
録画ファイルの保存先を設定します。

《Internet Explorerの保護モードが有効なとき》

《ユーザーアカウント制御(UAC)が有効なとき》

ダウンロードしたファイルはセキュリティーで保護された下記の仮想フォルダーに保存されます。

C:\Users\<ユーザー名>\AppData\Local\Microsoft\Windows\INetCache\
Virtualized\C\Users\<ユーザー名>

ファイルを確認する方法

「ファイル」→「オプション」→「表示」の詳細設定で、「隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する」にチェックを入れて、「保護されたオペレーティングシステムファイルを表示しない(推奨)」のチェックを外します。

上記のフォルダーが表示されるようになります。

以下のいずれかの方法で任意のフォルダーにファイルを保存できるようになります。

《Internet Explorerのアイコンを右クリックして、「管理者として実行」を選択して起動する》

《ユーザーアカウント制御(UAC)、Internet Explorerの保護モードを無効にする》

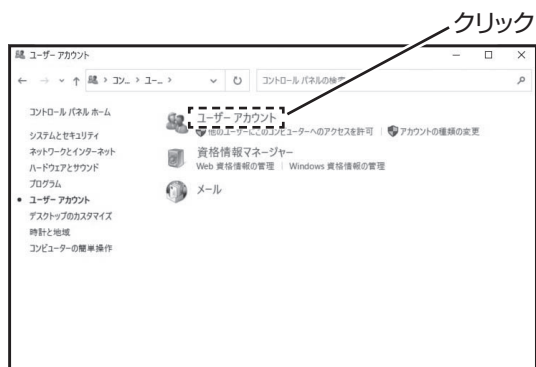
- ユーザーアカウント制御(UAC)、Internet Explorerの保護モードを無効にする手順は、下記「ユーザーアカウント制御(UAC)を無効にする」、および「Internet Explorerの保護モードを無効にする」(p.88)をご覧ください。

ユーザーアカウント制御(UAC)を無効にする

- ①「コントロールパネル」を開いて、「ユーザーアカウント」をクリックします。



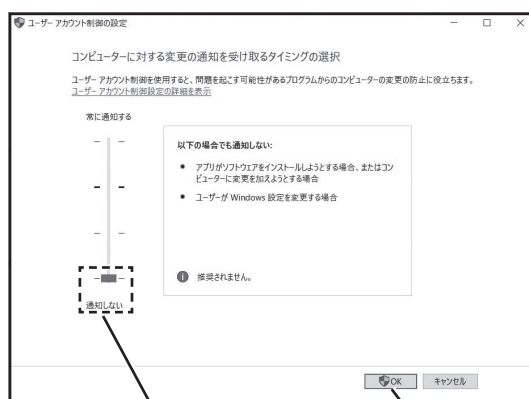
- ②「ユーザーアカウント」をクリックします。



- ③「ユーザーアカウント制御設定の変更」をクリックします。



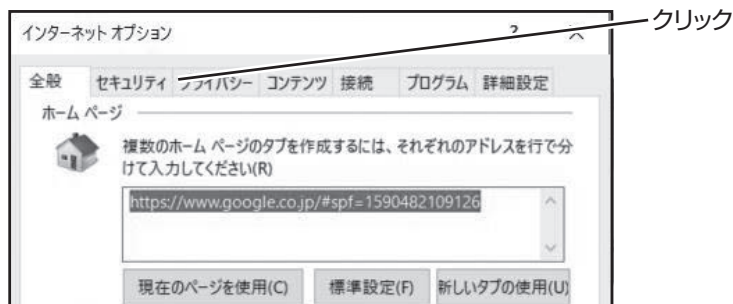
- ④バーを「通知しない」に設定して、「OK」をクリックします。



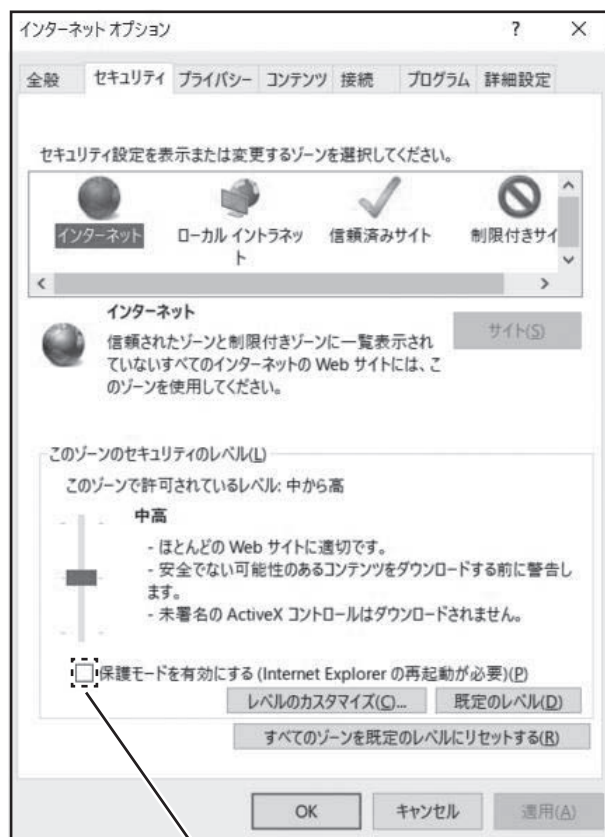
Internet Explorerの保護モードを無効にする

①「Internet Explorer」の設定から、「インターネットオプション(O)」をクリックします。

②「セキュリティ」をクリックします。



③「保護モードを有効にする」のチェックを外します。



④Internet Explorerを再起動します。

症状	確認内容	ページ
レコーダーが作動しない	ACアダプターが抜けていませんか。	p.11
	モニターの電源がOFFになっていませんか。	—
	電源表示灯は点灯していますか。	p.9
モニターに映像が出ない	モニターは出力解像度に対応していますか。	p.11
カメラの映像が出ない	カメラの電源は入っていますか。	—
	ケーブルが抜けていませんか。	p.11
録画できない	上書き録画の設定になっていますか。	p.44
	ハードディスクは初期化しましたか。	p.52
	録画設定に間違いはありませんか。	p.44
スケジュール録画が作動しない	スケジュールの時間は正確に設定されていますか。	p.46
	時間は正確に設定されていますか。	p.63
モーション検知録画が作動しない	検知対象(人、物)までの距離が長くないですか。	—
	動体検知設定に間違いはありませんか。	p.39
	検知対象との間に障害物はありませんか。	—
スマート検知録画が作動しない	お使いのカメラはスマート検知に対応していますか。 お使いのカメラによってはスマート検知に対応していない場合があります。	—
再生できない	録画ファイルは保存されていますか。	—
	レコーダーの電源を入れ直してください。	p.12
専用アプリを検索できない	検索ワードに間違いはありませんか。	p.70
	iPadの場合、iPhone用アプリで検索していますか。	—
スマートフォン・タブレットにカメラの映像が出ない	インターネットに接続されていますか。	p.70
	レコーダーの電源を入れ直してください。	p.12
スマートフォン・タブレットに通知がこない	スマートフォン・タブレットの通知設定をONにしていますか。	p.80
	レコーダーの通知メッセージを有効にしていますか。	p.48

レコーダー

項目		規格
ビデオ部		
録画	映像圧縮方式	H.265/H.264
	録画解像度	5M/4M/1080p/720p/960H
	フレームレート	5M@12fps、4M@15fps、1080p@30fps、720p@30fps
	モード	常時録画/スケジュール録画/モーション録画
	検知前録画/検知後録画	検知前3or5秒/検知後5秒～10分
画面表示	画面解像度	HDMI最大3840×2160 VGA最大1920×1080
	画面モード	1、4、9分割
	自動画面切替	5秒～60秒
再生	再生速度	2～32倍、1/2～1/32倍、スロー再生
	同時再生	4チャンネル
	再生モード	日時検索、カメラ検索、イベント検索、スマート検索
インターフェイス部		
映像入力		BNC.J×4
映像出力		HDMI/VGA/BNC
音声	入力	RCA.J×4
	出力	RCA.J×1
ネットワーク端子		RJ45×1
シリアル端子		USB2.0×2
ネットワーク部		
プロトコル		HTTP/DHCP/PPPoE/DDNS/SMTP/FTP/UPNP/P2P
ブラウザ		Internet Explorer、Safari、Microsoft Edge、Google Chrome
モバイル		iOS10.0以降/Android5.0以降
同時アクセスユーザー		10ユーザー
一般		
バックアップ		USB2.0 フラッシュメモリ/外付けHDD
使用温度範囲		0～ $\oplus$ 40℃
電源		DC12V (ACアダプター)
消費電力		15W
外観寸法		約52(H)×300(W)×249(D)mm
質量(重量)		約1.8kg

ACアダプター

項目	規格
入力	AC100～240V 50/60Hz 2A
出力	DC12V, 5A
コード長	約1m
外観寸法	54(H)×35(W)×123(D)mm
質量(重量)	約300g

カメラ台数	画質 (Kbps)	録画時間 (時間)
4	10240	96
4	8192	120
4	6144	168
4	5120	192
4	4096	240
4	3072	336
4	2048	480
4	1536	672
4	1024	960
4	768	1344
4	512	1920

●録画解像度およびフレームレートは、録画時間に影響しません。

ご注意

録画時間は連続録画を想定したときの目安値です。
動きの多い映像や色の種類が多い映像など、撮影環境によって録画時間が極端に短くなることがあります。

保証書

高解像度AHDレコーダー

MODEL **ASMR65**

お客様住所			
TEL. _____			
★お客様お名前			様
★保証期間(販売店記入欄)			
お買上げ日		年	月
日から1年間			
★販売店名・住所(販売店記入欄)			
TEL. _____			

★印の欄にご記入のない場合、または、販売店の発行した、お買上げ日、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合、無効になります。本書は再発行いたしませんから、紛失しないよう大切に保管してください。

無料修理規定

- 「取扱説明書」などの注意にしたがった正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合、お買上げの販売店に本製品と本書をご持参、ご提示のうえ、修理をご依頼ください。

無料修理させていただきます。

- 次のような場合、保証期間中でも有料修理になりますから、ご注意ください。

- ・ 本書のご提示がない場合。
- ・ 本書に、お客様お名前、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、または、販売店の発行した、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合。
- ・ 本書の字句を書換えられた場合。
- ・ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧などによる故障および損傷。
- ・ ご使用上の誤りによる故障および損傷。
- ・ 不当な修理や改造による故障および損傷。
- ・ お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
- ・ 他の機器などにより誘発する故障および損傷。
- ・ 一般的な室内環境以外(例えば業務用や車両・船舶への搭載など)に使用されたときの故障および損傷。
- ・ 設置工事、施工の不備によって生じた故障および損傷。

- 本書は日本国内に限り有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

本書に明示した期間および条件で、無料修理をお約束します。保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にお問合わせください。修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により、有料修理いたします。

持込修理

＝マスプロ電気株式会社＝

本社 〒470-0194 (本社専用番号) 愛知県日進市浅田町上納80
営業部 TEL名古屋 (052) 802-2244

＝マスプロ電気＝

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80

技術相談



0570-091119

ナビダイヤル。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは **052-805-3366**
受付時間 9～12時、13～17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネット www.maspro.co.jp

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

FEB.,2022

2K57-541

TK -22-6541-2-1TW

